

対象校No. 971
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2

天理大学 国際学部 韓国・朝鮮語学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜韓国・朝鮮語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人天理大学

(2) 大学名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学部長	(ナガモリ ミツノブ) 長森 美信 (令和6年4月)		
学科長等	(クマキ ツトム) 熊木 勉 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに入力してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 韓国・朝鮮語学科 学士(韓国・朝鮮語)	文学関係	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []															
志願者数	() []	44 () []														
受験者数	() []	42 () []	0.60 倍	-												
合格者数	() []	40 () []														
B 入学者数	() []	24 () []														
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.60			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	24 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 韓国・朝鮮語学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	英語1	1-2-3-4前	1								兼15
	英語2	1-2-3-4後	1								兼15
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼8
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼6
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(45科目)	-		8	69	0	0	0	0	0	0	兼55
キャリア教育科目	キャリアプランニング	1-2-3-4後		2							兼3
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	英語1	1-2-3-4前	1								兼16
	英語2	1-2-3-4後	1								兼16
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2			1		1		
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼11
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼8
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(49科目)	-		8	77	0	1	1	0	0	0	兼61
キャリア教育科目	キャリアプランニング	1-2-3-4後		2							兼5
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1
	海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2				1				
	基礎ゼミナール2	1後		2			1				
	データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2							兼1
	データリテラシー	2-3-4前後		2							兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2							兼2
	情報処理	2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2							兼4
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2							兼1
小計(12科目)	-	2	22	0	0	1	0	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2							兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後		2							兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後		2							兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後		2							兼1
	統計学1	1-2-3-4前		2							兼1
	統計学2	1-2-3-4前		2							兼1
	経営学1	1-2-3-4前		2							兼1
	経営学2	1-2-3-4前		2							兼1
	地理学1	1-2-3-4前		2							兼1
	地理学2	1-2-3-4前		2							兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前		2							兼2
	法学	1-2-3-4前		2							兼2
	経済学1	1-2-3-4前		2							兼1
	経済学2	1-2-3-4前		2							兼1
	政治学	1-2-3-4前		2							兼1
	社会学	1-2-3-4前		2							兼1
	民法1	1-2-3-4前		2							兼1
	民法2	1-2-3-4前		2							兼1
	行政法1	1-2-3-4前		2							兼1
	行政法2	1-2-3-4前		2							兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前		2							兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前		2							兼2
	倫理学1	1-2-3-4前		2							兼1
	倫理学2	1-2-3-4前		2							兼1
	心理学1	1-2-3-4前		2							兼2
	心理学2	1-2-3-4前		2							兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前		2							兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前		2							兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前		2							兼1
	労働と社会	1-2-3-4前		2							兼1
	障害学	1-2-3-4前		2							兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前		2							兼1
世界の文学2	1-2-3-4前		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前		2		1						
宗教と現代社会	1-2-3-4前		2							兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前		2							兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前		2							兼3	
日本手話A	1-2-3-4前		2							兼1	
日本手話B	1-2-3-4前		2							兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前		1							兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1
	海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2				1				
	基礎ゼミナール2	1後		2			1				
	データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2							兼1
	データリテラシー	2-3-4前後		2							兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2							兼2
	情報処理	2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2							兼5
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2							兼1
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2							兼1
小計(12科目)	-	2	22	0	0	1	0	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2							兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後		2							兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後		2							兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後		2							兼1
	統計学1	1-2-3-4前		2							兼1
	統計学2	1-2-3-4前		2							兼1
	経営学1	1-2-3-4前		2							兼1
	経営学2	1-2-3-4前		2							兼1
	地理学1	1-2-3-4前		2							兼1
	地理学2	1-2-3-4前		2							兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前		2							兼2
	法学	1-2-3-4前		2							兼2
	経済学1	1-2-3-4前		2							兼1
	経済学2	1-2-3-4前		2							兼1
	政治学	1-2-3-4前		2							兼1
	社会学	1-2-3-4前		2							兼1
	民法1	1-2-3-4前		2							兼1
	民法2	1-2-3-4前		2							兼1
	行政法1	1-2-3-4前		2							兼1
	行政法2	1-2-3-4前		2							兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前		2							兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前		2							兼2
	倫理学1	1-2-3-4前		2							兼1
	倫理学2	1-2-3-4前		2							兼1
	心理学1	1-2-3-4前		2							兼2
	心理学2	1-2-3-4前		2							兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前		2							兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前		2							兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前		2							兼1
	労働と社会	1-2-3-4前		2							兼1
	障害学	1-2-3-4前		2							兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前		2							兼1
世界の文学2	1-2-3-4前		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前		2					1			
宗教と現代社会	1-2-3-4前		2							兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前		2							兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前		2							兼3	
日本手話A	1-2-3-4前		2							兼1	
日本手話B	1-2-3-4前		2							兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前		1							兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ニュースポーツ	2-3-4期		1								兼2
	小計(42科目)	—	0	81	0	1	0	0	0	0	0	兼31
	合計(106科目)	—	10	184	0	1	1	0	0	0	0	兼85
国際学部共通科目	日本文化概論	1-2-3-4期		2								兼1
	国際文化論	1-2-3-4期		2								兼1
	日本と国際社会	1-2-3-4期		2								兼1
	グローバル文化論	2-3-4期		2								兼1
	アジア地域文化論	2-3-4後		2		1						
	オセアニア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2-3-4後		2								兼1
	アフリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	アメリカ地域文化論	2-3-4後		2								兼1
	世界の歴史と社会	3-4前		2								兼1
	アジアの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	オセアニアの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3-4前		2								兼1
	アフリカの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	アメリカの歴史と社会	3-4前		2								兼1
	世界の英語	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1-2-3-4期		2								兼1
	英語音声学1	2-3-4期		2								兼1
	英語音声学2	2-3-4後		2								兼1
	英語学概論	2-3-4後		2								兼1
	社会言語学1	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学2	2-3-4後		2								兼1
	言語学概論1	3-4前		2								兼1
	言語学概論2	3-4後		2								兼1
	College English Grammar A	1-2-3-4期		1								兼1
	College English Grammar B	1-2-3-4期		1								兼1
	Business Communication	1-2-3-4期		1								兼1
	TOEFL Academic English	1-2-3-4期		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese History	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese Religions	1-2-3-4期		2								兼1
	観光地理学	2-3-4期		2								兼1
	観光デザイン論	2-3-4期		2								兼1
	観光業界論	2-3-4期		2								兼1
	世界遺産論	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究1	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究2	2-3-4期		2								兼1
	国内旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	海外旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	国際スポーツ協力論	2-3-4通		1								兼2
	国際スポーツ交流実習	2-3-4休		1								兼2
小計(44科目)	—	0	82	0	1	0	0	0	0	0	兼21	
韓国・朝鮮語学科専攻科目	韓国・朝鮮語A(文法)	1前	3			1	1					兼2
	韓国・朝鮮語A(会話)	1前	2			2						兼2
	韓国・朝鮮語A(発音)	1前	1									兼2
	韓国・朝鮮語B(文法)	1後	3			1	1					兼1
	韓国・朝鮮語B(会話)	1後	2			2						兼1
	韓国・朝鮮語B(講読)	1後	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語C(文法)	2前	1				1					兼1
	韓国・朝鮮語C(会話)	2前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語C(講読)	2前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語C(作文)	2前	1			1						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ニュースポーツ	2-3-4期		1								兼2
	小計(42科目)	—	0	81	0	1	0	0	0	0	0	兼33
	合計(110科目)	—	10	192	0	2	1	0	0	0	0	兼94
国際学部共通科目	日本文化概論	1-2-3-4期		2								兼1
	国際文化論	1-2-3-4期		2								兼1
	日本と国際社会	1-2-3-4期		2								兼1
	グローバル文化論	2-3-4期		2								兼1
	アジア地域文化論	2-3-4後		2				1				
	オセアニア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2-3-4後		2								兼1
	アフリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	アメリカ地域文化論	2-3-4後		2								兼1
	世界の歴史と社会	3-4前		2								兼1
	アジアの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	オセアニアの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3-4前		2								兼1
	アフリカの歴史と社会	3-4後		2								兼1
	アメリカの歴史と社会	3-4前		2								兼1
	世界の英語	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1-2-3-4期		2								兼1
	英語音声学1	2-3-4期		2								兼1
	英語音声学2	2-3-4後		2								兼1
	英語学概論	2-3-4後		2								兼1
	社会言語学1	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学2	2-3-4後		2								兼1
	言語学概論1	3-4前		2								兼1
	言語学概論2	3-4後		2								兼1
	College English Grammar A	1-2-3-4期		1								兼1
	College English Grammar B	1-2-3-4期		1								兼1
	Business Communication	1-2-3-4期		1								兼1
	TOEFL Academic English	1-2-3-4期		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese History	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese Religions	1-2-3-4期		2								兼1
	観光地理学	2-3-4期		2								兼1
	観光デザイン論	2-3-4期		2								兼1
	観光業界論	2-3-4期		2								兼1
	世界遺産論	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究1	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究2	2-3-4期		2								兼1
	国内旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	海外旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	国際スポーツ協力論	2-3-4通		1								兼2
	国際スポーツ交流実習	2-3-4休		1								兼2
小計(44科目)	—	0	82	0	1	0	0	0	0	0	兼21	
韓国・朝鮮語学科専攻科目	韓国・朝鮮語A(文法)	1前	3			1	1					兼2
	韓国・朝鮮語A(会話)	1前	2			2						兼2
	韓国・朝鮮語A(発音)	1前	1									兼2
	韓国・朝鮮語B(文法)	1後	3			1	1					兼1
	韓国・朝鮮語B(会話)	1後	2			2						兼1
	韓国・朝鮮語B(講読)	1後	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語C(文法)	2前	1				1					兼1
	韓国・朝鮮語C(会話)	2前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語C(講読)	2前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語C(作文)	2前	1			1						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
韓国・朝鮮語学科専攻科目	韓国・朝鮮語D(文法)	2後	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語D(会話)	2後	1			1						
	韓国・朝鮮語D(講読)	2後	1			1						
	韓国・朝鮮語D(作文)	2後	1			1						
	韓国・朝鮮語E(会話)	3前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語E(講読)	3前	1			1						
	韓国・朝鮮語E(作文)	3前	1			1						
	韓国・朝鮮語E(表現)	3前	1									兼2
	韓国・朝鮮語F(会話)	3後	1									兼2
	韓国・朝鮮語F(講読)	3後	1			1						
	韓国・朝鮮語F(作文)	3後	1									兼1
	韓国・朝鮮語F(表現)	3後	1									兼2
	韓国・朝鮮語G(総合)	4前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語H(総合)	4後	1			1						兼1
	実践韓国・朝鮮語A	2-3-4前		1		1						兼1
	実践韓国・朝鮮語B	2-3-4後		1								兼1
	映像で学ぶ韓国・朝鮮語	2-3-4前		1								兼1
	韓国・朝鮮語古典講読	3-4後		1		1						
	通訳翻訳韓国・朝鮮語A	3-4前		1		1						
	通訳翻訳韓国・朝鮮語B	3-4後		1		1						
	応用韓国・朝鮮語A	3-4前		1								兼1
	応用韓国・朝鮮語B	3-4後		1								兼1
	伝道韓国・朝鮮語1	3-4前		1								兼1
	伝道韓国・朝鮮語2	3-4後		1								兼1
	韓国・朝鮮語学概論1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮語学概論2	2-3-4後		2			1					
	韓国・朝鮮文学概論1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮文学概論2	2-3-4後		2		1						
	韓国・朝鮮史1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮史2	2-3-4後		2		1						
	韓国・朝鮮社会文化論1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮社会文化論2	2-3-4後		2		1						
	韓国・朝鮮文化交流史1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮文化交流史2	2-3-4後		2		1						
韓国・朝鮮事情1	3-4前		2								兼1	
韓国・朝鮮事情2	3-4後		2								兼1	
韓国・朝鮮語科指導法1	3前		2			1						
韓国・朝鮮語科指導法2	3後		2		1							
韓国・朝鮮入門	1前		2		1							
韓国・朝鮮語演習1	3前		2		4							
韓国・朝鮮語演習2	3後		2		4							
韓国・朝鮮語演習3	4前		2		4							
韓国・朝鮮語演習4	4後		2		4							
韓国・朝鮮語海外語学実習	2休		4		1							
卒業課題研究	4通			2	1							
卒業論文	4通			4	1							
小計(56科目)	—		44	44	0	4	1	0	0	0	兼4	
資格科目	天理教学部門	伝道実習1	1-2-3-4休			1						兼1
		伝道実習2	1-2-3-4休			1						兼1
		伝道実習3	2-3-4前			1						兼1
		伝道実習4	2-3-4後			1						兼1
		小計(4科目)	—		0	0	4	0	0	0	0	0
	人文科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
日本語文法論2	2後			2						兼1		
日本語音声学	2後			2						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
韓国・朝鮮語学科専攻科目	韓国・朝鮮語D(文法)	2後	1			1						
	韓国・朝鮮語D(会話)	2後	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語D(講読)	2後	1			1						
	韓国・朝鮮語D(作文)	2後	1			1						
	韓国・朝鮮語E(会話)	3前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語E(講読)	3前	1			1						
	韓国・朝鮮語E(作文)	3前	1			1						
	韓国・朝鮮語E(表現)	3前	1									兼2
	韓国・朝鮮語F(会話)	3後	1									兼2
	韓国・朝鮮語F(講読)	3後	1			1						
	韓国・朝鮮語F(作文)	3後	1									兼1
	韓国・朝鮮語F(表現)	3後	1									兼2
	韓国・朝鮮語G(総合)	4前	1			1						兼1
	韓国・朝鮮語H(総合)	4後	1			1						兼1
	実践韓国・朝鮮語A	2-3-4前		1		1						兼1
	実践韓国・朝鮮語B	2-3-4後		1								兼1
	映像で学ぶ韓国・朝鮮語	2-3-4前		1								兼1
	韓国・朝鮮語古典講読	3-4後		1		1						
	通訳翻訳韓国・朝鮮語A	3-4前		1		1						
	通訳翻訳韓国・朝鮮語B	3-4後		1		1						
	応用韓国・朝鮮語A	3-4前		1								兼1
	応用韓国・朝鮮語B	3-4後		1								兼1
	伝道韓国・朝鮮語1	3-4前		1								兼1
	伝道韓国・朝鮮語2	3-4後		1								兼1
	韓国・朝鮮語学概論1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮語学概論2	2-3-4後		2			1					
	韓国・朝鮮文学概論1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮文学概論2	2-3-4後		2		1						
	韓国・朝鮮史1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮史2	2-3-4後		2		1						
	韓国・朝鮮社会文化論1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮社会文化論2	2-3-4後		2		1						
	韓国・朝鮮文化交流史1	2-3-4前		2		1						
	韓国・朝鮮文化交流史2	2-3-4後		2		1						
韓国・朝鮮事情1	3-4前		2								兼1	
韓国・朝鮮事情2	3-4後		2								兼1	
韓国・朝鮮語科指導法1	3前		2			1						
韓国・朝鮮語科指導法2	3後		2		1							
韓国・朝鮮入門	1前		2		1							
韓国・朝鮮語演習1	3前		2		4							
韓国・朝鮮語演習2	3後		2		4							
韓国・朝鮮語演習3	4前		2		4							
韓国・朝鮮語演習4	4後		2		4							
韓国・朝鮮語海外語学実習	2休		4		1							
卒業課題研究	4通			2	1							
卒業論文	4通			4	1							
小計(56科目)	—		44	44	0	4	1	0	0	0	兼5	
資格科目	天理教学部門	伝道実習1	1-2-3-4休			1						兼1
		伝道実習2	1-2-3-4休			1						兼1
		伝道実習3	2-3-4前			1						兼1
		伝道実習4	2-3-4後			1						兼1
		小計(4科目)	—		0	0	4	0	0	0	0	0
	人文科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
日本語文法論2	2後			2						兼1		
日本語音声学	2後			2						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	言語の対照研究	3前			2							兼1
	日本語教授法1	3前			2							兼1
	日本語教授法2	3後			2							兼1
	第二言語習得論	3前			2							兼1
	日本語指導法	4前			2							兼1
	日本語教育評価法	4後			2							兼1
	日本語教育実習	4通			2							兼1
小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼2
社会科学部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
	情報サービス論	3・4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
	情報資源組織論	3・4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3・4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3・4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論	1・2・3・4前			2							兼1
	更生保護概論	1・2・3・4前			2							兼1
	矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2・3・4後			2							兼2
犯罪被害者支援論	2・3・4後			2							兼1	
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	兼13
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2・3・4前後			2							兼1
	教育史	2・3・4前			2							兼1
	教育課程論	3・4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2・3・4前後			2							兼1
	学校教育社会学	2・3・4前後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2							兼1
	特別な支援の必要な生徒の理解	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2・3・4前			2							兼3
	人権教育論2	2・3・4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1							兼3
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2							兼1	
教育史特論	2・3・4後			2							兼1	
臨床教育学特論	2・3・4通			2							兼1	
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	兼12
合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	0	兼28
合計(263科目)	—	54	310	106	4	1	0	0	0	0	0	兼124

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	言語の対照研究	3前			2							兼1
	日本語教授法1	3前			2							兼1
	日本語教授法2	3後			2							兼1
	第二言語習得論	3前			2							兼1
	日本語指導法	4前			2							兼1
	日本語教育評価法	4後			2							兼1
	日本語教育実習	4通			2							兼1
小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼2
社会科学部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
	情報サービス論	3・4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
	情報資源組織論	3・4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3・4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3・4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論	1・2・3・4前			2							兼1
	更生保護概論	1・2・3・4前			2							兼1
	矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2・3・4後			2							兼2
犯罪被害者支援論	2・3・4後			2							兼1	
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	兼13
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2・3・4前後			2							兼1
	教育史	2・3・4前			2							兼1
	教育課程論	3・4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2・3・4前後			2							兼1
	学校教育社会学	2・3・4前後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2							兼1
	特別な支援の必要な生徒の理解	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2・3・4前			2							兼3
	人権教育論2	2・3・4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1							兼3
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2							兼1	
教育史特論	2・3・4後			2							兼1	
臨床教育学特論	2・3・4通			2							兼1	
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	兼12
合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	0	兼28
合計(267科目)	—	54	318	106	4	1	0	0	0	0	0	兼134

卒業要件及び履修方法

総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上
 国際学部共通科目 6単位以上
 韓国・朝鮮語学科専攻科目:必修科目44単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め8単位以上 計52単位以上
 国際学部共通科目、韓国・朝鮮語学科専攻科目 計70単位以上
 総合教育科目、国際学部共通科目、韓国・朝鮮語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。
 履修科目の登録上限:48単位(年間)

卒業要件及び履修方法

総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上
 国際学部共通科目 6単位以上
 韓国・朝鮮語学科専攻科目:必修科目44単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め8単位以上 計52単位以上
 国際学部共通科目、韓国・朝鮮語学科専攻科目 計70単位以上
 総合教育科目、国際学部共通科目、韓国・朝鮮語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。
 履修科目の登録上限:48単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「教授1」「准教授1」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	170 科目	57 科目	263 科目	36 科目 [-]	174 科目 [4]	57 科目 [-]	267 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{263} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡			
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡			
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡			
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡			
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため(6)		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)			
(3) 教 室 等	講 義 室 60 室	演 習 室 44 室	実験実習室 22 室	情報処理学習施設 11 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 5 室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 国際学部 韓国・朝鮮語学科		室 数 5 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際学部 韓国・朝鮮語学 科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌/申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡	410 349		191,000 154,000			面積/錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数/申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)	
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡	武道館(柔剣道場)		弓道場			面積が錯誤により増加したため(6)	
		空手道場		トレーニングルーム				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	390千円	390千円	図書購入費	1,707千円	1,885千円 1,707千円	1,885千円 1,707千円
	共同研究費等	926千円 754千円	926千円 754千円	設備購入費	1,286千円	1,331千円 1,286千円	1,331千円 1,286千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,080千円	第2年次 1,030千円	第3年次 1,030千円	第4年次 1,030千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	天理大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—	
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市袖之内町1050番地	
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上	
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上	
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上	
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上	
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上	
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—	
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上	
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上	
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上	
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上	
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上	
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—	
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—	
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—	
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市袖之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 韓国・朝鮮語学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	魯ゼウオン <令和6年4月> 博士(社会学)	専	教授	魯ゼウオン <令和6年4月> 博士(社会学)
		カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論 韓国・朝鮮社会文化論1 韓国・朝鮮社会文化論2 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4			カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論 韓国・朝鮮社会文化論1 韓国・朝鮮社会文化論2 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4
専	教授	熊木 勉 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)	専	教授	熊木 勉 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
		韓国・朝鮮語A(会話) 韓国・朝鮮語B(会話) 韓国・朝鮮語C(会話) 韓国・朝鮮語D(会話) 韓国・朝鮮語F(講読) 韓国・朝鮮語G(総合) 韓国・朝鮮語H(総合) 実践韓国・朝鮮語A 韓国・朝鮮文学概論1 韓国・朝鮮文学概論2 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4 韓国・朝鮮語海外語学実習 卒業課題研究 卒業論文			多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) 添 韓国・朝鮮語A(会話) 韓国・朝鮮語B(会話) 韓国・朝鮮語C(会話) 韓国・朝鮮語D(会話) 韓国・朝鮮語F(講読) 韓国・朝鮮語G(総合) 韓国・朝鮮語H(総合) 実践韓国・朝鮮語A 韓国・朝鮮文学概論1 韓国・朝鮮文学概論2 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4 韓国・朝鮮語海外語学実習 卒業課題研究 卒業論文
専	教授	金 善美 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)	専	教授	金 善美 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		韓国・朝鮮語A(文法) 韓国・朝鮮語A(会話) 韓国・朝鮮語B(文法) 韓国・朝鮮語B(会話) 韓国・朝鮮語C(作文) 韓国・朝鮮語D(作文) 韓国・朝鮮語E(作文) 通訳翻訳韓国・朝鮮語A 通訳翻訳韓国・朝鮮語B 韓国・朝鮮語学概論1 韓国・朝鮮語科指導法2 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4 韓国・朝鮮語海外語学実習			韓国・朝鮮語A(文法) 韓国・朝鮮語A(会話) 韓国・朝鮮語B(文法) 韓国・朝鮮語B(会話) 韓国・朝鮮語C(作文) 韓国・朝鮮語D(作文) 韓国・朝鮮語E(作文) 通訳翻訳韓国・朝鮮語A 通訳翻訳韓国・朝鮮語B 韓国・朝鮮語学概論1 韓国・朝鮮語科指導法2 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4 韓国・朝鮮語海外語学実習
専	教授	長森 美信 <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	長森 美信 <令和6年4月> 博士(文学)
		韓国・朝鮮語B(講読) 韓国・朝鮮語C(講読) 韓国・朝鮮語D(講読) 韓国・朝鮮語E(講読) 韓国・朝鮮語古典講読 韓国・朝鮮史1 韓国・朝鮮史2 韓国・朝鮮文化交流史1 韓国・朝鮮文化交流史2 韓国・朝鮮入門 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4 韓国・朝鮮語海外語学実習			韓国・朝鮮語B(講読) 韓国・朝鮮語C(講読) 韓国・朝鮮語D(講読) 韓国・朝鮮語E(講読) 韓国・朝鮮語古典講読 韓国・朝鮮史1 韓国・朝鮮史2 韓国・朝鮮文化交流史1 韓国・朝鮮文化交流史2 韓国・朝鮮入門 韓国・朝鮮語演習1 韓国・朝鮮語演習2 韓国・朝鮮語演習3 韓国・朝鮮語演習4 韓国・朝鮮語海外語学実習
専	准教授	高地 朋成 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)	専	准教授	高地 朋成 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
		基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 韓国・朝鮮語A(文法) 韓国・朝鮮語B(文法) 韓国・朝鮮語C(文法) 韓国・朝鮮語D(文法) 韓国・朝鮮語E(会話) 韓国・朝鮮語学概論2 韓国・朝鮮語科指導法1			多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) 添 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 韓国・朝鮮語A(文法) 韓国・朝鮮語B(文法) 韓国・朝鮮語C(文法) 韓国・朝鮮語D(文法) 韓国・朝鮮語E(会話) 韓国・朝鮮語学概論2 韓国・朝鮮語科指導法1
兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学)
		異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication			異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication
兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア)	兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア)
		Japanese Religions			Japanese Religions
兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ)	兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ)
		多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会			多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※
		多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2			多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)	兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)
		多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道			多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)	兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)
		多文化理解と言語(スペイン語)			多文化理解と言語(スペイン語)
兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)	兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)
		多文化理解と言語(ポルトガル語)			多文化理解と言語(ポルトガル語)
兼任	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)	兼任	教授	初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論			グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※
		国際文化論 世界の歴史と社会 世界遺産論			世界の歴史と社会 世界遺産論
兼任	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)
		アジアの歴史と社会			アジアの歴史と社会
兼任	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会			国際文化論 スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会
兼任	教授	岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※			
		日本事情1 日本事情2			
兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※	兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※
		日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		多文化理解と言語(日本語)			多文化理解と言語(日本語)
兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米園)	兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米園)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions) (米國)	兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions) (米國)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History
兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸能			宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士	兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	金山 元香 <令和6年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	金山 元香 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成			ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名			担当授業科目名
		仲淳			仲淳
兼任	教授	<令和6年4月> 修士(教育学)※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援	兼任	教授	<令和6年4月> 修士(教育学)※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米園)※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論	兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米園)※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	兼任	教授	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	教授	奥田 真紀子 <令和6年4月> 修士(学術)※ 保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学) 基礎からわかる生物・化学	兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学) 基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米園) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会	兼任	教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米園) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会
兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド) ジェンダー・セクシャリティ	兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド) ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2	兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学)※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論	兼任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学)※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論
兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン) 日本文化概論	兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン) 日本文化概論
兼任	准教授	中祐 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※ ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会	兼任	教授	中祐 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※ ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会
兼任	准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究) アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会	兼任	准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究) アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)	兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)	兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 <令和6年4月> Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama (アイルランド)			
		英語1 英語2 多文化理解と言語(英語) 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)	兼任	教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B
兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2
兼任	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士(文学)			
		基礎からわかる近代史			
兼任	准教授	箱田 徹 <令和6年4月> 博士(学術)			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2			
兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)
		ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる入門編 ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる入門編 ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学)	兼任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学)
		Business Communication			Business Communication
兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)	兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 <令和6年4月> 博士(教育学)			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアプランニング キャリアデザイン1 基礎からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也 <令和6年4月> 修士(体育学)※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	王 尚華 <令和6年4月> 博士(社会人類学)
					日本事情1 日本事情2
			兼任	教授	森元 伸枝 <令和6年4月> 修士(経営学)※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 孝弘 <令和6年4月> 修士(学術)
					天理大学特別講義3
			兼任	教授	白石 晃 <令和6年4月> 修士(教育学)
					健康スポーツ科学1

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	寺田 和史 <令和6年4月> 博士(医学) 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 直理 <令和6年4月> 博士(医学) 保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	山本 佳世子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学) キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	松山 尚蓮 <令和6年4月> 修士(体育学) 健康スポーツ科学1
			兼任	助教	西田 昂平 <令和6年4月> 修士(体育学) 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	李 承娟 <令和6年4月> 修士(韓国語教育)(韓国) 韓国・朝鮮語B(会話) 韓国・朝鮮語C(会話) 韓国・朝鮮語D(会話) 韓国・朝鮮語E(会話) 韓国・朝鮮語F(表現) 韓国・朝鮮語F(会話) 韓国・朝鮮語F(作文) 韓国・朝鮮語F(表現) 韓国・朝鮮語G(総合) 韓国・朝鮮語H(総合) 実践韓国・朝鮮語A 実践韓国・朝鮮語B 映像で学ぶ韓国・朝鮮語 応用韓国・朝鮮語A 応用韓国・朝鮮語B 韓国・朝鮮事情1 韓国・朝鮮事情2	兼任	講師	李 承娟 <令和6年4月> 修士(韓国語教育)(韓国) 韓国・朝鮮語B(会話) 韓国・朝鮮語C(会話) 韓国・朝鮮語D(会話) 韓国・朝鮮語E(会話) 韓国・朝鮮語F(表現) 韓国・朝鮮語F(会話) 韓国・朝鮮語F(作文) 韓国・朝鮮語F(表現) 韓国・朝鮮語G(総合) 韓国・朝鮮語H(総合) 実践韓国・朝鮮語A 実践韓国・朝鮮語B 映像で学ぶ韓国・朝鮮語 応用韓国・朝鮮語A 応用韓国・朝鮮語B 韓国・朝鮮事情1 韓国・朝鮮事情2
兼任	講師	蔡 珮菁 <令和6年4月> 博士(文学) 多文化理解と言語(中国語)	兼任	講師	蔡 珮菁 <令和6年4月> 博士(文学) 多文化理解と言語(中国語)
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア) 多文化理解と言語(ロシア語)	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア) 多文化理解と言語(ロシア語)
兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学) 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティー観光研究1 ホスピタリティー観光研究2 国内旅行実務 海外旅行実務	兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学) 天理大学特別講義6 天理大学特別講義6 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティー観光研究1 ホスピタリティー観光研究2 国内旅行実務 海外旅行実務
兼任	講師	金 宝英 <令和6年4月> 博士(学術) 韓国・朝鮮語A(発音) 韓国・朝鮮語E(表現) 韓国・朝鮮語F(会話) 韓国・朝鮮語F(表現)	兼任	講師	金 宝英 <令和6年4月> 博士(学術) 韓国・朝鮮語A(発音) 韓国・朝鮮語E(表現) 韓国・朝鮮語F(会話) 韓国・朝鮮語F(表現)
兼任	講師	鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国) 韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2 韓国・朝鮮語A(会話) 韓国・朝鮮語A(発音)	兼任	講師	鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国) 韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2 韓国・朝鮮語A(会話) 韓国・朝鮮語A(発音)

専任・兼任の別	職名	氏名	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士	兼任	吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) 韓国・朝鮮語A(会話) 伝道韓国・朝鮮語1 伝道韓国・朝鮮語2		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※ 伝道韓国・朝鮮語1 伝道韓国・朝鮮語2
兼任	講師	鈴高 梓 <令和6年4月> 博士(英文学)	兼任	鈴高 梓 <令和6年4月> 博士(英文学)
		英語1 英語2		英語1 英語2
兼任	講師	日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米園)	兼任	日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米園)
		英語1 英語2 TOEFL Academic English		英語1 英語2 TOEFL Academic English
兼任	講師	Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Culture and Society		Japanese Culture and Society
兼任	講師	山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学) ※	兼任	山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学) ※
		多文化理解と言語(ドイツ語)		多文化理解と言語(ドイツ語)
兼任	講師	初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)	兼任	初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論		グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	講師	石田 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学) ※	兼任	石田 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学) ※
		英語1 英語2		英語1 英語2
兼任	講師	荻野 綾 <令和6年4月> 修士(外国語教育学)	兼任	荻野 綾 <令和6年4月> 修士(外国語教育学)
		英語1 英語2		英語1 英語2
兼任	講師	家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)	兼任	家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)
		教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2		教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2
兼任	講師	小林 和代 <令和6年4月> 文学修士	兼任	小林 和代 <令和6年4月> 文学修士
		中国語1 中国語2		中国語1 中国語2
兼任	講師	後藤 朗子 <令和6年4月> 修士(文学) ※	兼任	後藤 朗子 <令和6年4月> 修士(文学) ※
		英語1 英語2		英語1 英語2
兼任	講師	内藤 貴夫 <令和6年4月> 修士(文学) ※	兼任	内藤 貴夫 <令和6年4月> 修士(文学) ※
		英語1 英語2		英語1 英語2
兼任	講師	野田 智子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	野田 智子 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語1 英語2		英語1 英語2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	定田 隆康	兼任	講師	定田 隆康
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山川 仁	兼任	講師	山川 仁
		<令和6年4月> 博士(人間・環境学)			<令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山口 徳一	兼任	講師	山口 徳一
		<令和6年4月> 修士(英文学)※			<令和6年4月> 修士(英文学)※
		英語1 英語2			英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治	兼任	講師	山村 誠治
		<令和6年4月> 博士(英語学)			<令和6年4月> 博士(英語学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	井上 成人	兼任	講師	井上 成人
		<令和6年4月> 文学士			<令和6年4月> 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江	兼任	講師	伊橋 幸江
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延	兼任	講師	上原 道延
		<令和7年4月> 教育学士			<令和7年4月> 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之	兼任	講師	梅田 正之
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人	兼任	講師	加藤 匡人
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎	兼任	講師	澤井 一郎
		<令和6年4月> 修士(文学)※			<令和6年4月> 修士(文学)※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教	兼任	講師	松山 常教
		<令和6年4月> 学士(宗教学)			<令和6年4月> 学士(宗教学)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直	兼任	講師	安井 幹直
		<令和6年4月> M.A(文学修士)(米園)			<令和6年4月> M.A(文学修士)(米園)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵	兼任	講師	荒田 恵
		<令和9年4月> 修士(文学)			<令和9年4月> 修士(文学)
		博物館実習2			博物館実習2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	乾 誠二	兼任	講師	乾 誠二
		<令和9年4月> 文学士			<令和9年4月> 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純	兼任	講師	齊藤 純
		<令和9年4月> 文学修士※			<令和9年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁	兼任	講師	中尾 徳仁
		<令和9年4月> 学士(教育学)			<令和9年4月> 学士(教育学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平	兼任	講師	今治 周平
		<令和6年4月> 法務博士			<令和6年4月> 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明	兼任	講師	角 克明
		<令和6年4月> 教育学修士※			<令和6年4月> 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康	兼任	講師	加藤 康
		<令和6年4月> 修士(商学)※			<令和6年4月> 修士(商学)※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子			
		<令和6年4月> 博士(理学)			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治	兼任	講師	坂手 誠治
		<令和6年4月> 博士(学術)			<令和6年4月> 博士(学術)
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子	兼任	講師	鈴木 史子
		<令和6年4月> 修士(臨床心理学)※			<令和6年4月> 修士(臨床心理学)※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也	兼任	講師	竹村 和也
		<令和6年4月> 修士(法学)※			<令和6年4月> 修士(法学)※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄	兼任	講師	東井 申雄
		<令和6年4月> 修士(人間科学)			<令和6年4月> 修士(人間科学)
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵	兼任	講師	長沢 一恵
		<令和6年4月> 修士(文学)※			<令和6年4月> 修士(文学)※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 書籍からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴	兼任	講師	中村 珍晴
		<令和6年4月> 博士(スポーツ科学)			<令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		障害学			障害学

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	西直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)	兼任	講師	西直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)
		日本語A 日本語B			日本語A 日本語B
兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 <令和6年4月> 博士(農学)			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名
		小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士			小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士
兼任	講師	教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)	兼任	講師	教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)
		富田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)			富田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)
兼任	講師	人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2	兼任	講師	人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2
		松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)			松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)
兼任	講師	道徳の理論及び指導法	兼任	講師	道徳の理論及び指導法
		犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士			犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士
兼任	講師	矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)	兼任	講師	矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)
		高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士			高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士
兼任	講師	矯正保護支援実践論 ※	兼任	講師	矯正保護支援実践論 ※
		中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※			中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※
兼任	講師	更生保護概論	兼任	講師	更生保護概論
		北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)			北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)
兼任	講師	犯罪被害者支援論	兼任	講師	犯罪被害者支援論
		山本 道次 <令和7年4月> 体育学士			山本 道次 <令和7年4月> 体育学士
兼任	講師	矯正保護支援実践論 ※	兼任	講師	矯正保護支援実践論 ※
		佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士			佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士
兼任	講師	児童・YAサービス論	兼任	講師	児童・YAサービス論
		坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士			坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士
兼任	講師	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2	兼任	講師	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
		山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士			山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士
兼任	講師	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ	兼任	講師	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ
		田中 実 <令和6年4月> 文学修士(大鷲民謡)			田中 実 <令和6年4月> 文学修士(大鷲民謡)
兼任	講師	韓国・朝鮮語A(会話)	兼任	講師	韓国・朝鮮語A(会話)
		芳賀 達彦 <令和6年4月> 修士(人間科学)			芳賀 達彦 <令和6年4月> 修士(人間科学)
兼任	講師	社会学	兼任	講師	社会学

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	北岡 一弘 <令和6年4月> 修士(学術) 修士(英文学) 修士(英語教育学)
					英語1 英語2 多文化理解と言語(英語)
			兼任	講師	村田 直子 <令和6年4月> 修士(政治学)
					英語1 英語2
			兼任	講師	片山 雅男 <令和6年4月> 理学修士
					地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 <令和6年4月> 博士(文学)
					キャリアプランニング
			兼任	講師	箱田 徹 <令和6年4月> 博士(学術)
					哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 <令和6年4月> 学士(理学)
					科学と現代
			兼任	講師	須永 哲恵 <令和7年4月> 博士(教育学)
					教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習指導 介護福祉 職業実践演習(中・高) 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	山本 樹 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	3
5	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	1	0	0	5	0	4	1	0	0	5	0
(4)	(1)	(0)	(0)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	1	0	0	5	0	4	1	0	0	5	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した。人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学者数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学者数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 韓国・朝鮮語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）

・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部韓国・朝鮮語学科は、既設の国際学部外国語学科韓国・朝鮮語専攻を改編し、令和6年に開設した。教育研究上の目的として、「本学創設当初からの長い歴史の中で培われてきた韓国・朝鮮語教育プログラムにもとづき、体系的かつ実践的な韓国・朝鮮語教育を行う。また、韓国・朝鮮語の修得にとどまらず、同時に韓国・朝鮮地域の歴史や文化・社会に関する知識を身につけ、韓国・朝鮮に対する深い理解を得るようにする。さらに、韓国・朝鮮に対する知識を土台に、自国の文化や自分自身を相対化して考える力を涵養し、他者を尊重しつつ、国際社会で活躍できる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。

授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

次回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 972
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
天理大学 国際学部 中国語学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜中国語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人天理大学

(2) 大学名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学部長	(ナガモリ ミツノブ) 長森 美信 (令和6年4月)		
学科長等	(ナカガワ ユウゾウ) 中川 裕三 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに入力してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 中国語学科 学士(中国語)	文学関係	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	-	0.27 倍	-												
志願者数	() []	-														
受験者数	() []	-														
合格者数	() []	-														
B 入学者数	() []	-														
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.27		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	11 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 中国語学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	英語1	1-2-3-4前	1								兼15
	英語2	1-2-3-4後	1								兼15
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼8
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼6
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(45科目)	-		8	69	0	0	0	0	0	0	兼55
キャリア教育科目	キャリアプランニング	1-2-3-4後		2							兼3
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	英語1	1-2-3-4前	1								兼16
	英語2	1-2-3-4後	1								兼16
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼2
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼11
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼8
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(49科目)	-		8	77	0	0	0	0	0	0	兼63
キャリア教育科目	キャリアプランニング	1-2-3-4後		2							兼5
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通	2								兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通	1								兼1
	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2				1				
	基礎ゼミナール2	1後	2			1					
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3前	2								兼2
	情報処理	2-3-4前	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3前	2								兼4
	基礎からわかる近代史	1-2-3前	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3前	2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3前	2								兼1
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3前	2								兼1
小計(12科目)	-	2	22	0	1	1	0	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3前	2								兼1
	地球環境論	1-2-3前	2								兼1
	科学と現代	1-2-3前	2								兼1
	数学と論理	1-2-3前	2								兼1
	統計学1	1-2-3前	2								兼1
	統計学2	1-2-3前	2								兼1
	経営学1	1-2-3前	2								兼1
	経営学2	1-2-3前	2								兼1
	地理学1	1-2-3前	2								兼1
	地理学2	1-2-3前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3前	2								兼2
	法学	1-2-3前	2								兼2
	経済学1	1-2-3前	2								兼1
	経済学2	1-2-3前	2								兼1
	政治学	1-2-3前	2								兼1
	社会学	1-2-3前	2								兼1
	民法1	1-2-3前	2								兼1
	民法2	1-2-3前	2								兼1
	行政法1	1-2-3前	2								兼1
	行政法2	1-2-3前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3前	2								兼1
	心理学1	1-2-3前	2								兼2
	心理学2	1-2-3前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3前	2								兼1
	障害学	1-2-3前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3前	2								兼1
世界の文学2	1-2-3前	2								兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通	2								兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通	1								兼1
	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2				1				
	基礎ゼミナール2	1後	2			1					
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3前	2								兼2
	情報処理	2-3-4前	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3前	2								兼5
	基礎からわかる近代史	1-2-3前	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3前	2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3前	2								兼1
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3前	2								兼1
小計(12科目)	-	2	22	0	1	1	0	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3前	2								兼1
	地球環境論	1-2-3前	2								兼1
	科学と現代	1-2-3前	2								兼1
	数学と論理	1-2-3前	2								兼1
	統計学1	1-2-3前	2								兼1
	統計学2	1-2-3前	2								兼1
	経営学1	1-2-3前	2								兼1
	経営学2	1-2-3前	2								兼1
	地理学1	1-2-3前	2								兼1
	地理学2	1-2-3前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3前	2								兼2
	法学	1-2-3前	2								兼2
	経済学1	1-2-3前	2								兼1
	経済学2	1-2-3前	2								兼1
	政治学	1-2-3前	2								兼1
	社会学	1-2-3前	2								兼1
	民法1	1-2-3前	2								兼1
	民法2	1-2-3前	2								兼1
	行政法1	1-2-3前	2								兼1
	行政法2	1-2-3前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3前	2								兼1
	心理学1	1-2-3前	2								兼2
	心理学2	1-2-3前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3前	2								兼1
	障害学	1-2-3前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3前	2								兼1
世界の文学2	1-2-3前	2								兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ニュースポーツ	2-3-4期		1								兼2
	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼32
	合計(106科目)	—	10	184	0	1	1	0	0	0	0	兼86
国際学部共通科目	日本文化概論	1-2-3-4期		2								兼1
	国際文化論	1-2-3-4期		2								兼1
	日本と国際社会	1-2-3-4期		2								兼1
	グローバル文化論	2-3-4期		2								兼1
	アジア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	オセアニア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	アフリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	アメリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	世界の歴史と社会	3-4期		2								兼1
	アジアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	オセアニアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	アフリカの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	アメリカの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	世界の英語	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1-2-3-4期		2								兼1
	英語音声学1	2-3-4期		2								兼1
	英語音声学2	2-3-4期		2								兼1
	英語学概論	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学1	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学2	2-3-4期		2								兼1
	言語学概論1	3-4期		2								兼1
	言語学概論2	3-4期		2								兼1
	College English Grammar A	1-2-3-4期		1								兼1
	College English Grammar B	1-2-3-4期		1								兼1
	Business Communication	1-2-3-4期		1								兼1
	TOEFL Academic English	1-2-3-4期		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese History	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese Religions	1-2-3-4期		2								兼1
	観光地理学	2-3-4期		2								兼1
	観光デザイン論	2-3-4期		2								兼1
	観光業界論	2-3-4期		2								兼1
	世界遺産論	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究1	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究2	2-3-4期		2								兼1
	国内旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	海外旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	国際スポーツ協力論	2-3-4期		1								兼2
	国際スポーツ交流実習	2-3-4期		1								兼2
小計(44科目)	—	0	82	0	0	0	0	0	0	0	兼22	
中国語学科専攻科目	中国語A(文法)	1前	2			1						
	中国語A(発音)	1前	2			1						
	中国語A(リスニング)	1前	2			1						
	中国語B(文法)	1後	2				1					
	中国語B(発音)	1後	2				1					
	中国語B(リスニング)	1後	2				1					
	中国語C(文法)	2前	2				1					
	中国語C(会話1)	2前	1				1					
	中国語C(会話2)	2前	1									兼1
	中国語D(読解)	2後	2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ニュースポーツ	2-3-4期		1								兼2
	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼34
	合計(110科目)	—	10	192	0	1	1	0	0	0	0	兼97
国際学部共通科目	日本文化概論	1-2-3-4期		2								兼1
	国際文化論	1-2-3-4期		2								兼1
	日本と国際社会	1-2-3-4期		2								兼1
	グローバル文化論	2-3-4期		2								兼1
	アジア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	オセアニア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	アフリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	アメリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	世界の歴史と社会	3-4期		2								兼1
	アジアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	オセアニアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	アフリカの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	アメリカの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	世界の英語	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1-2-3-4期		2								兼1
	英語音声学1	2-3-4期		2								兼1
	英語音声学2	2-3-4期		2								兼1
	英語学概論	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学1	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学2	2-3-4期		2								兼1
	言語学概論1	3-4期		2								兼1
	言語学概論2	3-4期		2								兼1
	College English Grammar A	1-2-3-4期		1								兼1
	College English Grammar B	1-2-3-4期		1								兼1
	Business Communication	1-2-3-4期		1								兼1
	TOEFL Academic English	1-2-3-4期		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese History	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese Religions	1-2-3-4期		2								兼1
	観光地理学	2-3-4期		2								兼1
	観光デザイン論	2-3-4期		2								兼1
	観光業界論	2-3-4期		2								兼1
	世界遺産論	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究1	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究2	2-3-4期		2								兼1
	国内旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	海外旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	国際スポーツ協力論	2-3-4期		1								兼2
	国際スポーツ交流実習	2-3-4期		1								兼2
小計(44科目)	—	0	82	0	0	0	0	0	0	0	兼22	
中国語学科専攻科目	中国語A(文法)	1前	2					1				
	中国語A(発音)	1前	2					1				
	中国語A(リスニング)	1前	2					1				
	中国語B(文法)	1後	2						1			
	中国語B(発音)	1後	2						1			
	中国語B(リスニング)	1後	2						1			
	中国語C(文法)	2前	2						1			
	中国語C(会話1)	2前	1						1			
	中国語C(会話2)	2前	1									兼1
	中国語D(読解)	2後	2						1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中国語学科専攻科目	中国語D(会話1)	2後	1			1						兼1
	中国語D(会話2)	2後	1									
	中国語E(通訳1)	3前	1			1						
	中国語E(通訳2)	3前	1			1						
	中国語E(読解)	3前	2			1						
	中国語F(通訳1)	3後	1			1						
	中国語F(通訳2)	3後	1			1						
	中国語F(読解)	3後	2			1						
	中国語G(総合)	4前	1			2						
	中国語H(総合)	4後	1			2						
	伝道中国語1	2前		1								兼1
	伝道中国語2	2後		1								兼1
	広東語A	2前		1								兼1
	広東語B	2後		1								兼1
	台湾語A	2前		1								兼1
	台湾語B	2後		1								兼1
	ボランティア中国語A	2前		1			1					
	ボランティア中国語B	2後		1			1					
	スピーチ中国語A	2前		1		1						
	スピーチ中国語B	2後		1		1						
	ビジネス中国語	3前		1								兼1
	中国語学概論1	2前		2		1						
	中国語学概論2	2後		2		1						
	中国文学概論1	2前		2		1						
	中国文学概論2	2後		2		1						
	中国史1	2前		2		1						
	中国史2	2後		2		1						
	中国文化史1	2前		2		1						
	中国文化史2	2後		2		1						
	台湾社会文化論1	2前		2		1						
	台湾社会文化論2	2後		2		1						
	近代中国と国際政治1	2前		2			1					
	近代中国と国際政治2	2後		2			1					
中国語科指導法1	3前		2		1							
中国語科指導法2	3後		2		1							
中国語圏研究入門	1後		2		1							
中国語演習1	3前		2		1							
中国語演習2	3後		2		1							
中国語演習3	4前		2		2	1						
中国語演習4	4後		2		2	1						
中国語海外語学実習	2休		4			1						
卒業課題研究	4通			2	1							
卒業論文	4通			4	1							
小計(53科目)	—		44	45	89	4	1	0	0	0	兼4	
資格科目	天理教学部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1						兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
日本語教授法2	3後			2						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
中国語学科専攻科目	中国語D(会話1)	2後	1			1						
	中国語D(会話2)	2後	1									兼1
	中国語E(通訳1)	3前	1			1						
	中国語E(通訳2)	3前	1			1						
	中国語E(読解)	3前	2			1						
	中国語F(通訳1)	3後	1			1						
	中国語F(通訳2)	3後	1			1						
	中国語F(読解)	3後	2			1						
	中国語G(総合)	4前	1			2						
	中国語H(総合)	4後	1			2						
	伝道中国語1	2前		1								兼1
	伝道中国語2	2後		1								兼1
	広東語A	2前		1								兼1
	広東語B	2後		1								兼1
	台湾語A	2前		1								兼1
	台湾語B	2後		1								兼1
	ボランティア中国語A	2前		1			1					
	ボランティア中国語B	2後		1			1					
	スピーチ中国語A	2前		1		1						
	スピーチ中国語B	2後		1		1						
	ビジネス中国語	3前		1								兼1
	中国語学概論1	2前		2		1						
	中国語学概論2	2後		2		1						
	中国文学概論1	2前		2		1						
	中国文学概論2	2後		2		1						
	中国史1	2前		2		1						
	中国史2	2後		2		1						
	中国文化史1	2前		2		1						
	中国文化史2	2後		2		1						
	台湾社会文化論1	2前		2		1						
	台湾社会文化論2	2後		2		1						
	近代中国と国際政治1	2前		2			1					
	近代中国と国際政治2	2後		2			1					
中国語科指導法1	3前		2		1							
中国語科指導法2	3後		2		1							
中国語圏研究入門	1後		2		1							
中国語演習1	3前		2		1							
中国語演習2	3後		2		1							
中国語演習3	4前		2		2	1						
中国語演習4	4後		2		2	1						
中国語海外語学実習	2休		4			1						
卒業課題研究	4通			2	1							
卒業論文	4通			4	1							
小計(53科目)	—		44	45	89	4	1	0	0	0	兼4	
資格科目	天理教学部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1						兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
日本語教授法2	3後			2						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	第二言語習得論	3前			2							兼1
	日本語指導法	4前			2							兼1
	日本語教育評価法	4後			2							兼1
	日本語教育実習	4通			2							兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	兼2
社会科学部門	図書館情報システム論	2-3-4後			2							兼1
	情報サービス論	3-4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2-3-4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3-4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2-3-4前			2							兼1
	情報資源組織論	3-4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3-4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3-4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論	1-2-3-4前			2							兼1
	更生保護概論	1-2-3-4前			2							兼1
	矯正保護教育(施設参観を含む)	3-4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2-3-4後			2							兼2
	犯罪被害者支援論	2-3-4後			2							兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	兼13
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2-3-4前後			2							兼1
	教育史	2-3-4前			2							兼1
	教育課程論	3-4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2-3-4前後			2							兼1
	学校教育社会学	2-3-4前後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3-4前後			2							兼1
	特別な支援の必要な生徒の理解	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2-3-4前後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2-3-4前後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4前後			2							兼1
	教育史特論	2-3-4後			2							兼1
	臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	兼28
	合計(260科目)	—	54	311	106	4	1	0	0	0	0	兼125
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群2単位以上 計22単位以上 国際学部共通科目 6単位以上 中国語学科専攻科目:必修科目44単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め14単位以上 計58単位以上 国際学部共通科目、中国語学科専攻科目 計70単位以上 総合教育科目、国際学部共通科目、中国語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	第二言語習得論	3前			2							兼1
	日本語指導法	4前			2							兼1
	日本語教育評価法	4後			2							兼1
	日本語教育実習	4通			2							兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	兼2
社会科学部門	図書館情報システム論	2-3-4後			2							兼1
	情報サービス論	3-4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2-3-4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3-4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2-3-4前			2							兼1
	情報資源組織論	3-4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3-4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3-4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論	1-2-3-4前			2							兼1
	更生保護概論	1-2-3-4前			2							兼1
	矯正保護教育(施設参観を含む)	3-4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2-3-4後			2							兼2
	犯罪被害者支援論	2-3-4後			2							兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	兼13
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2-3-4前後			2							兼1
	教育史	2-3-4前			2							兼1
	教育課程論	3-4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2-3-4前後			2							兼1
	学校教育社会学	2-3-4前後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3-4前後			2							兼1
	特別な支援の必要な生徒の理解	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2-3-4前後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2-3-4前後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4前後			2							兼1
	教育史特論	2-3-4後			2							兼1
	臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	兼28
	合計(264科目)	—	54	319	106	4	1	0	0	0	0	兼135
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群2単位以上 計22単位以上 国際学部共通科目 6単位以上 中国語学科専攻科目:必修科目44単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め14単位以上 計58単位以上 国際学部共通科目、中国語学科専攻科目 計70単位以上 総合教育科目、国際学部共通科目、中国語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)												

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「中国語B（文法）」 担当者の変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	171 科目	57 科目	260 科目	32 科目 [-]	175 科目 [4]	57 科目 [-]	264 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{260} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡			
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡			
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡			
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡			
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため(6)		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	60 室	44 室	22 室	11 室 (補助職員 0人)	5 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際学部 中国語学科			5 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際学部 中国語学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌/申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡		410 349		191,000 154,000		面積/錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数/申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡		武道館(柔剣道場)		弓道場		面積が錯誤により増加したため(6)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	390千円	390千円	図書購入費	1,707千円	1,885千円 1,707千円	1,885千円 1,707千円
	共同研究費等	926千円 754千円	926千円 754千円	設備購入費	1,557千円	1,537千円 1,557千円	1,537千円 1,557千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	天理大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—	
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市袖之内町1050番地	
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上	
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上	
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上	
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上	
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上	
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—	
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上	
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上	
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上	
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上	
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上	
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—	
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—	
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—	
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市袖之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 中国語学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専任	教授	中川 裕三 <令和6年4月> 修士(文学)※ 中国語A(リスニング) 中国語B(発音) 中国語B(リスニング) スピーチ中国語A 中国語学概論1 中国語学概論2 中国語演習3 中国語演習4 卒業課題研究 卒業論文	専任	教授	中川 裕三 <令和6年4月> 修士(文学)※ 中国語A(リスニング) 中国語B(文法) 中国語B(発音) 中国語B(リスニング) スピーチ中国語A 中国語学概論1 中国語学概論2 中国語演習3 中国語演習4 卒業課題研究 卒業論文
専任	教授	中 純子 <令和6年4月> 文学修士※ 中国語E(通訳2) 中国語F(通訳2) 中国語G(総合) 中国語H(総合) 中国語学概論1 中国語学概論2 中国史1 中国文化史1 中国文化史2 中国語圏研究入門 中国語演習3 中国語演習4 中国語海外語学実習	専任	教授	中 純子 <令和6年4月> 文学修士※ 中国語E(通訳2) 中国語F(通訳2) 中国語G(総合) 中国語H(総合) 中国語学概論1 中国語学概論2 中国史1 中国文化史1 中国文化史2 中国語圏研究入門 中国語演習3 中国語演習4 中国語海外語学実習
専任	教授	竹田(宮崎) 治美 <令和6年4月> 博士(文学) 基礎ゼミナール2 中国語A(発音) 中国語D(会話1) 中国語E(会話1) 中国語E(通訳1) 中国語F(通訳1) 中国語G(総合) 中国語H(総合) ボランティア中国語B スピーチ中国語B	専任	教授	竹田(宮崎) 治美 <令和6年4月> 博士(文学) 基礎ゼミナール2 中国語A(発音) 中国語D(会話1) 中国語E(会話1) 中国語E(通訳1) 中国語F(通訳1) 中国語G(総合) 中国語H(総合) ボランティア中国語B スピーチ中国語B
専任	教授	山本 和行 <令和6年4月> 博士(教育学) 中国語C(文法) 中国語E(読解) 中国語F(読解) 中国史1 中国史2 台湾社会文化論1 台湾社会文化論2 中国語科指導法1 中国語科指導法2 中国語演習1 中国語演習2 中国語海外語学実習	専任	教授	山本 和行 <令和6年4月> 博士(教育学) 中国語C(文法) 中国語E(読解) 中国語F(読解) 中国史1 中国史2 台湾社会文化論1 台湾社会文化論2 中国語科指導法1 中国語科指導法2 中国語演習1 中国語演習2 中国語海外語学実習
専任	准教授	今井 淳雄 <令和6年4月> 博士(国際学) 基礎ゼミナール1 中国語A(文法) 中国語B(文法) 中国語D(読解) ボランティア中国語A ボランティア中国語B 台湾社会文化論1 近代中国と国際政治1 近代中国と国際政治2 中国語演習3 中国語演習4 中国語海外語学実習	専任	准教授	今井 淳雄 <令和6年4月> 博士(国際学) 基礎ゼミナール1 中国語A(文法) 中国語D(読解) ボランティア中国語A ボランティア中国語B 台湾社会文化論1 近代中国と国際政治1 近代中国と国際政治2 中国語演習3 中国語演習4 中国語海外語学実習
兼任	教授	魯 ゼウオン <令和6年4月> 博士(社会学) カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論	兼任	教授	魯 ゼウオン <令和6年4月> 博士(社会学) カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論
兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学) 異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication	兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学) 異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication
兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア) Japanese Religions	兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア) Japanese Religions
兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ) 多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会	兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ) 多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※
		多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2			多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)	兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)
		多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道			多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)	兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)
		多文化理解と言語(スペイン語)			多文化理解と言語(スペイン語)
兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)	兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)
		多文化理解と言語(ポルトガル語)			多文化理解と言語(ポルトガル語)
兼任	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)	兼任	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論			グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※
		国際文化論 世界の歴史と社会 世界遺産論			世界の歴史と社会 世界遺産論
兼任	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)
		アジアの歴史と社会			アジアの歴史と社会
兼任	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会			国際文化論 スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会
兼任	教授	岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※			
		日本事情 1 日本事情 2			
兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※	兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※
		日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		多文化理解と言語(日本語)			多文化理解と言語(日本語)
兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米園)	兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米園)
		天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ

専任・兼任の別	職名	氏名	職名	氏名	
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			
兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions) (米國)	兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions) (米國)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History
兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸能			宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士	兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	金山 元香 <令和6年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	金山 元香 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成 伝道中国語1 伝道中国語2			ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成 伝道中国語1 伝道中国語2
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	仲淳 <令和6年4月> 修士(教育学)※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援	兼任	教授	仲淳 <令和6年4月> 修士(教育学)※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米園)※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論	兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米園)※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	兼任	教授	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	教授	奥田 真紀子 <令和6年4月> 修士(学術)※ 保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学) 基礎からわかる生物・化学	兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学) 基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米園) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会	兼任	教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米園) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会
兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド) ジェンダー・セクシャリティ	兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド) ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2	兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学)※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論	兼任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学)※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論
兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン) 日本文化概論	兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン) 日本文化概論
兼任	准教授	中祐 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※ ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会	兼任	教授	中祐 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※ ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会
兼任	准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究) アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会	兼任	准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究) アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)	兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)	兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 <令和6年4月> Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama (アイルランド)			
		英語1 英語2 多文化理解と言語(英語) 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)	兼任	教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B
兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2
兼任	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士(文学)			
		基礎からわかる近代史			
兼任	准教授	箱田 徹 <令和6年4月> 博士(学術)			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2			
兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)
		ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる入門編 ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる入門編 ローキャリアート天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		小畑 治			小畑 治
兼任	准教授	<令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	<令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学)	兼任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学)
		Business Communication			Business Communication
兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)	兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 <令和6年4月> 博士(教育学)			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 憲法からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也 <令和6年4月> 修士(体育学)※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	藤本 勉 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
					多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
			兼任	教授	王 向華 <令和6年4月> 博士(社会人観学)
					日本事情1 日本事情2
			兼任	教授	藤元 伸枝 <令和6年4月> 修士(経営学)※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 孝弘 <令和6年4月> 修士(学術)
					天理大学特別講義9

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	白石 晃 <令和6年4月> 修士(教育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 <令和6年4月> 博士(医学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 真理 <令和6年4月> 博士(医学)
					保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	高地 朋成 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
					多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)
			兼任	准教授	山本 佳世子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
					キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	松山 尚蓮 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	助教	西田 昂平 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	蔡 瑞菁 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	蔡 瑞菁 <令和6年4月> 博士(文学)
		多文化理解と言語(中国語) 中国語C(会話2) 中国語D(会話2) 台湾語A 台湾語B			多文化理解と言語(中国語) 中国語C(会話2) 中国語D(会話2) 台湾語A 台湾語B
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア)	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア)
		多文化理解と言語(ロシア語)			多文化理解と言語(ロシア語)
兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学)	兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学)
		観光地理学 観光業界論 ホスピタリティ-観光研究1 ホスピタリティ-観光研究2 国内旅行業務 海外旅行業務			天理大学特別講義6 天理大学特別講義6 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティ-観光研究1 ホスピタリティ-観光研究2 国内旅行業務 海外旅行業務
兼任	講師	大西 善宏 <令和7年4月> 学士(アジア研究中国語)	兼任	講師	大西 善宏 <令和7年4月> 学士(アジア研究中国語)
		広東語A 広東語B			広東語A 広東語B
兼任	講師	山西 和宏 <令和8年4月> 文学士	兼任	講師	山西 和宏 <令和8年4月> 文学士
		ビジネス中国語			ビジネス中国語

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		
兼任	講師	鈴木 陽二	兼任	講師	鈴木 陽二
		<令和6年4月> 文学修士(韓国)			<令和6年4月> 文学修士(韓国)
兼任	講師	韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2	兼任	講師	韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2
兼任	講師	吉川 万寿彦	兼任	講師	吉川 万寿彦
		<令和6年4月> 文学修士			<令和6年4月> 文学修士
兼任	講師	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	兼任	講師	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
兼任	講師	乾 拓也	兼任	講師	乾 拓也
		<令和6年4月> 修士(文学)			<令和6年4月> 修士(文学)
兼任	講師	英語1 英語2 社会言語学1 社会言語学2	兼任	講師	英語1 英語2 社会言語学1 社会言語学2
兼任	講師	鈴高 梓	兼任	講師	鈴高 梓
		<令和6年4月> 博士(英文学)			<令和6年4月> 博士(英文学)
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	日沖 直子	兼任	講師	日沖 直子
		<令和6年4月> 博士(宗教美術)(米国)			<令和6年4月> 博士(宗教美術)(米国)
兼任	講師	英語1 英語2 TOEFL Academic English	兼任	講師	英語1 英語2 TOEFL Academic English
兼任	講師	Randy Timothy Muth	兼任	講師	Randy Timothy Muth
		<令和6年4月> 博士(言語文化学)			<令和6年4月> 博士(言語文化学)
兼任	講師	Japanese Culture and Society	兼任	講師	Japanese Culture and Society
兼任	講師	山下 大輔	兼任	講師	山下 大輔
		<令和6年4月> 修士(文学) ※			<令和6年4月> 修士(文学) ※
兼任	講師	多文化理解と言語(ドイツ語)	兼任	講師	多文化理解と言語(ドイツ語)
兼任	講師	初谷 謙次	兼任	講師	初谷 謙次
		<令和9年4月> 修士(国際学)			<令和9年4月> 修士(国際学)
兼任	講師	グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論	兼任	講師	グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	講師	石田 雅子	兼任	講師	石田 雅子
		<令和6年4月> 修士(言語文化学) ※			<令和6年4月> 修士(言語文化学) ※
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	荻野 綾	兼任	講師	荻野 綾
		<令和6年4月> 修士(外国語教育学)			<令和6年4月> 修士(外国語教育学)
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	家村 雅子	兼任	講師	家村 雅子
		<令和6年4月> 修士(言語文化学)			<令和6年4月> 修士(言語文化学)
兼任	講師	教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2	兼任	講師	教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2
兼任	講師	小林 和代	兼任	講師	小林 和代
		<令和6年4月> 文学修士			<令和6年4月> 文学修士
兼任	講師	中国語1 中国語2	兼任	講師	中国語1 中国語2
兼任	講師	後藤 朗子	兼任	講師	後藤 朗子
		<令和6年4月> 修士(文学) ※			<令和6年4月> 修士(文学) ※
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	内藤 貴夫	兼任	講師	内藤 貴夫
		<令和6年4月> 修士(文学)※			<令和6年4月> 修士(文学)※
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	野田 智子	兼任	講師	野田 智子
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	疋田 隆康	兼任	講師	疋田 隆康
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	山川 仁	兼任	講師	山川 仁
		<令和6年4月> 博士(人間・環境学)			<令和6年4月> 博士(人間・環境学)
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	山口 徳一	兼任	講師	山口 徳一
		<令和6年4月> 修士(英文学)※			<令和6年4月> 修士(英文学)※
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治	兼任	講師	山村 誠治
		<令和6年4月> 博士(英語学)			<令和6年4月> 博士(英語学)
兼任	講師	英語1 英語2	兼任	講師	英語1 英語2
兼任	講師	井上 成人	兼任	講師	井上 成人
		<令和6年4月> 文学士			<令和6年4月> 文学士
兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2	兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江	兼任	講師	伊橋 幸江
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
兼任	講師	天理教学1 天理教学2	兼任	講師	天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延	兼任	講師	上原 道延
		<令和7年4月> 教育学士			<令和7年4月> 教育学士
兼任	講師	天理教学1 天理教学2	兼任	講師	天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之	兼任	講師	梅田 正之
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
兼任	講師	天理教学1 天理教学2	兼任	講師	天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人	兼任	講師	加藤 匡人
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2	兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎	兼任	講師	澤井 一郎
		<令和6年4月> 修士(文学)※			<令和6年4月> 修士(文学)※
兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2	兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教	兼任	講師	松山 常教
		<令和6年4月> 学士(宗教学)			<令和6年4月> 学士(宗教学)
兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2	兼任	講師	天理教概説1 天理教概説2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	安井 幹直 <令和6年4月> M.A(文学修士)(米國)	兼任	講師	安井 幹直 <令和6年4月> M.A(文学修士)(米國)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵 <令和9年4月> 修士(文学)	兼任	講師	荒田 恵 <令和9年4月> 修士(文学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 <令和9年4月> 文学士	兼任	講師	乾 誠二 <令和9年4月> 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 <令和9年4月> 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 <令和9年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 <令和9年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	中尾 徳仁 <令和9年4月> 学士(教育学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 <令和6年4月> 法務博士	兼任	講師	今治 周平 <令和6年4月> 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 <令和6年4月> 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 <令和6年4月> 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 <令和6年4月> 修士(商学)※	兼任	講師	加藤 康 <令和6年4月> 修士(商学)※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 <令和6年4月> 博士(理学)			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※	兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)	兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)	兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)
		日本語A 日本語B			日本語A 日本語B
兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 <令和6年4月> 博士(農学)			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	金山 佐喜子	兼任	講師	金山 佐喜子
		<令和6年4月> 修士(教育学)※			<令和6年4月> 修士(教育学)※
		担当授業科目名			担当授業科目名
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学	兼任	講師	北口 学
		<令和6年4月> 学士(芸術)			<令和6年4月> 学士(芸術)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎	兼任	講師	小島 源一郎
		<令和8年4月> 教育学士			<令和8年4月> 教育学士
		教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)			教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)
兼任	講師	富田 稔	兼任	講師	富田 稔
		<令和6年4月> 修士(都市政策)			<令和6年4月> 修士(都市政策)
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生	兼任	講師	松枝 拓生
		<令和8年4月> 博士(教育学)			<令和8年4月> 博士(教育学)
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠	兼任	講師	犬飼 誠
		<令和6年4月> 文学士			<令和6年4月> 文学士
		矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)			矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)
兼任	講師	高橋 秀紀	兼任	講師	高橋 秀紀
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子	兼任	講師	中村 寛子
		<令和6年4月> 学術修士※			<令和6年4月> 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇	兼任	講師	北條 正崇
		<令和7年4月> 学士(法学)			<令和7年4月> 学士(法学)
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次	兼任	講師	山本 道次
		<令和7年4月> 体育学士			<令和7年4月> 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江	兼任	講師	佐藤 敏江
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	坂井 隆秀	兼任	講師	坂井 隆秀
		<令和6年4月> 体育学士			<令和6年4月> 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子	兼任	講師	山田 貞子
		<令和6年4月> 教育学修士			<令和6年4月> 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニュースポーツ

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	芳賀 達彦 <令和6年4月> 修士(人間科学) 社会学
			兼任	講師	北岡 一弘 <令和6年4月> 修士(学術) 修士(英文学) 修士(英語教育学) 英語1 英語2 多文化理解と言語(英語)
			兼任	講師	村田 恵子 <令和6年4月> 修士(政治学) 英語1 英語2
			兼任	講師	片山 雅男 <令和6年4月> 理学修士 地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 <令和6年4月> 博士(文学) キャリアプランニング
			兼任	講師	箱田 敬 <令和6年4月> 博士(学術) 哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 <令和6年4月> 学士(理学) 科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 <令和7年4月> 博士(教育学) 教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護福祉学 教職実践講習(中・高) 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	山本 樹 <令和6年4月> 修士(体育学) 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	5
	3
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	1	0	0	5	0	4	1	0	0	5	0
(4)	(1)	(0)	(0)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	1	0	0	5	0	4	1	0	0	5	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した。人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学者数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学者数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 中国語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部中国語学科は、既設の国際学部外国語学科中国語専攻を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「国際的な視野を有し、国際社会に対応できる人材の育成をはかるための実践的な中国語教育を行う。学習レベルに応じて体系化したカリキュラムにもとづき、高度な中国語運用能力を養成する。さらに実り豊かな留学・海外語学実習を通じて、異文化理解の能力を身につけさせ、国際社会で活躍できる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。
授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・令和5年4月公表
- b 公表方法
 - ・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。
次回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 973

注4

学校コード F129310109266

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

天理大学 国際学部 英米語学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜英米語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人天理大学

(2) 大学名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学部長	(ナガモリ ミツノブ) 長森 美信 (令和6年4月)		
学科長等	(モリシタ サブロウ) 森下 三郎 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに入力してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 英米語学科 学士(英語)	文学関係	4 年	60 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	240 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []															
志願者数	() []															
受験者数	() []		0.58 倍													
合格者数	() []															
B 入学者数	() []															
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0.58		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	35 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 英米語学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼8
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼6
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(43科目)	-		6	69	0	0	0	0	0	0	兼43
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3前		2							兼3
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1
	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼2
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼11
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼8
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(47科目)	-		6	77	0	0	0	0	0	0	兼50
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3前		2							兼5
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1
	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎リテラシー科目群	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
	基礎ゼミナール1	1前	2			1	1				
	基礎ゼミナール2	1後	2			1	1				
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前後	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後	2								兼2
	情報処理	2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後	2								兼4
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後	2								兼1
基礎からわかる数学	1-2-3-4前後	2								兼1	
基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後	2								兼1	
小計(12科目)	-	2	22	0	1	1	1	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後	2								兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後	2								兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後	2								兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後	2								兼1
	統計学1	1-2-3-4前	2								兼1
	統計学2	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学2	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前	2								兼2
	法学	1-2-3-4前	2								兼2
	経済学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経済学2	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学	1-2-3-4前	2								兼1
	民法1	1-2-3-4前	2								兼1
	民法2	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法1	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法2	1-2-3-4前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	心理学1	1-2-3-4前	2								兼2
	心理学2	1-2-3-4前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3-4前	2								兼1
	障害学	1-2-3-4前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前	2								兼1
世界の文学2	1-2-3-4前	2								兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3-4前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3-4前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	
ニュースポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎リテラシー科目群	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
	基礎ゼミナール1	1前	2			1	1				
	基礎ゼミナール2	1後	2			1	1				
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前後	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後	2								兼2
	情報処理	2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後	2								兼5
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後	2								兼1
基礎からわかる数学	1-2-3-4前後	2								兼1	
基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後	2								兼1	
小計(12科目)	-	2	22	0	1	1	1	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後	2								兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後	2								兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後	2								兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後	2								兼1
	統計学1	1-2-3-4前	2								兼1
	統計学2	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学2	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前	2								兼2
	法学	1-2-3-4前	2								兼2
	経済学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経済学2	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学	1-2-3-4前	2								兼1
	民法1	1-2-3-4前	2								兼1
	民法2	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法1	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法2	1-2-3-4前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	心理学1	1-2-3-4前	2								兼2
	心理学2	1-2-3-4前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3-4前	2								兼1
	障害学	1-2-3-4前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前	2								兼1
世界の文学2	1-2-3-4前	2								兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3-4前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3-4前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	
ニュースポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼32
	合計(104科目)	—	8	184	0	1	1	1	0	0	兼74
国際学部共通科目	日本文化概論	1・2・3・4期		2							兼1
	国際文化論	1・2・3・4期		2							兼1
	日本と国際社会	1・2・3・4期		2							兼1
	グローバル文化論	2・3・4期		2							兼1
	アジア地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	オセアニア地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	アフリカ地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	アメリカ地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	世界の歴史と社会	3・4期		2							兼1
	アジアの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	オセアニアの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	アフリカの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	アメリカの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	世界の英語	1・2・3・4期		2							兼1
	異文化コミュニケーション1	1・2・3・4期		2		1					
	異文化コミュニケーション2	1・2・3・4期		2		1					
	英語音声学1	2・3・4期		2			1				
	英語音声学2	2・3・4期		2			1				
	英語学概論	2・3・4期		2			1				
	社会言語学1	2・3・4期		2							兼1
	社会言語学2	2・3・4期		2							兼1
	言語学概論1	3・4期		2							兼1
	言語学概論2	3・4期		2							兼1
	College English Grammar A	1・2・3・4期		1							兼1
	College English Grammar B	1・2・3・4期		1							兼1
	Business Communication	1・2・3・4期		1				1			
	TOEFL Academic English	1・2・3・4期		1							兼1
	Japanese Culture and Society	1・2・3・4期		2							兼1
Japanese History	1・2・3・4期		2							兼1	
Japanese Religions	1・2・3・4期		2		1						
観光地理学	2・3・4期		2							兼1	
観光デザイン論	2・3・4期		2							兼1	
観光業界論	2・3・4期		2							兼1	
世界遺産論	2・3・4期		2							兼1	
ホスピタリティ観光研究1	2・3・4期		2							兼1	
ホスピタリティ観光研究2	2・3・4期		2							兼1	
国内旅行実務	2・3・4期		2							兼1	
海外旅行実務	2・3・4期		2							兼1	
国際スポーツ協力論	2・3・4期		1							兼2	
国際スポーツ交流実習	2・3・4期		1							兼2	
小計(44科目)	—	0	82	0	2	1	1	0	0	兼18	
英米語学科専攻科目	英語A(Reading)	1前	1								兼3
	英語A(Writing)	1前	1			2					兼1
	英語A(Grammar)	1前	1			1					兼2
	英語A(Oral Communication 1)	1前	1		1						兼2
	英語A(Oral Communication 2)	1前	1				1				兼1
	英語A(Integrated English)	1前	1		1	1					兼1
	英語B(Reading)	1後	1			1					兼2
	英語B(Writing)	1後	1			2					兼1
	英語B(Grammar)	1後	1								兼3
	英語B(Oral Communication 1)	1後	1		1		1				兼1
	英語B(Oral Communication 2)	1後	1					1			兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼34
	合計(108科目)	—	8	192	0	1	1	1	0	0	兼85
国際学部共通科目	日本文化概論	1・2・3・4期		2							兼1
	国際文化論	1・2・3・4期		2							兼1
	日本と国際社会	1・2・3・4期		2							兼1
	グローバル文化論	2・3・4期		2							兼1
	アジア地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	オセアニア地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	アフリカ地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	アメリカ地域文化論	2・3・4期		2							兼1
	世界の歴史と社会	3・4期		2							兼1
	アジアの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	オセアニアの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	アフリカの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	アメリカの歴史と社会	3・4期		2							兼1
	世界の英語	1・2・3・4期		2				1			
	異文化コミュニケーション1	1・2・3・4期		2		1					
	異文化コミュニケーション2	1・2・3・4期		2		1					
	英語音声学1	2・3・4期		2			1				
	英語音声学2	2・3・4期		2			1				
	英語学概論	2・3・4期		2			1				
	社会言語学1	2・3・4期		2							兼1
	社会言語学2	2・3・4期		2							兼1
	言語学概論1	3・4期		2							兼1
	言語学概論2	3・4期		2							兼1
	College English Grammar A	1・2・3・4期		1							兼1
	College English Grammar B	1・2・3・4期		1							兼1
	Business Communication	1・2・3・4期		1				1			
	TOEFL Academic English	1・2・3・4期		1							兼1
	Japanese Culture and Society	1・2・3・4期		2							兼1
Japanese History	1・2・3・4期		2							兼1	
Japanese Religions	1・2・3・4期		2		1						
観光地理学	2・3・4期		2							兼1	
観光デザイン論	2・3・4期		2							兼1	
観光業界論	2・3・4期		2							兼1	
世界遺産論	2・3・4期		2							兼1	
ホスピタリティ観光研究1	2・3・4期		2							兼1	
ホスピタリティ観光研究2	2・3・4期		2							兼1	
国内旅行実務	2・3・4期		2							兼1	
海外旅行実務	2・3・4期		2							兼1	
国際スポーツ協力論	2・3・4期		1							兼2	
国際スポーツ交流実習	2・3・4期		1							兼2	
小計(44科目)	—	0	82	0	2	1	1	0	0	兼18	
英米語学科専攻科目	英語A(Reading)	1前	1					1			兼2
	英語A(Writing)	1前	1					2			兼1
	英語A(Grammar)	1前	1								兼3
	英語A(Oral Communication 1)	1前	1		1						兼2
	英語A(Oral Communication 2)	1前	1				1				兼1
	英語A(Integrated English)	1前	1		1	1					兼1
	英語B(Reading)	1後	1			1					兼2
	英語B(Writing)	1後	1			2					兼1
	英語B(Grammar)	1後	1								兼3
	英語B(Oral Communication 1)	1後	1		1		1				兼1
	英語B(Oral Communication 2)	1後	1					1			兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英米語学科専攻科目	英語B(Integrated English)	1後	1			1		1				兼1
	英語C(Reading)	2前	1				1					兼2
	英語C(Writing)	2前	1				1					兼2
	英語C(Oral Communication 1)	2前	1			1	1					兼1
	英語C(Oral Communication 2)	2前	1			1						兼2
	英語C(Presentation)	2前	1			1	2					
	英語C(Integrated English)	2前	1				1	1				兼1
	英語D(Reading)	2後	1				1					兼2
	英語D(Writing)	2後	1				1					兼2
	英語D(Oral Communication 1)	2後	1			1	1					兼1
	英語D(Oral Communication 2)	2後	1			1						兼1
	英語D(Presentation)	2後	1				2					
	英語D(Integrated English)	2後	1				1	1				兼1
	英語E(Writing)	3前	1				1					兼2
	英語E(Presentation)	3前	1				1		1			
	英語E(Integrated English)	3前	1									兼2
	英語F(Writing)	3後	1				1					兼1
	英語F(Presentation)	3後	1				1					兼1
	英語F(Integrated English)	3後	1									兼1
	観光英語	1・2・3・4後		1			1					
	ビジネス英語	2・3・4前		1								兼1
	英米文学概論	2・3・4前		2								兼1
	伝道英語1	2・3・4前		1			1					
	伝道英語2	2・3・4後		1			1					
	英米語概論1	2・3・4前		2				1				
	英米語概論2	2・3・4前		2				1				
	英米語概論3	2・3・4前		2			1	1				
	英米語概論4	2・3・4前		2								兼2
	英米語概論5	2・3・4前		2			1					兼1
	Content Based English 1	2・3・4後		2				1				
	Content Based English 2	2・3・4後		2								兼1
Content Based English 3	3・4前		2			1						
Content Based English 4	3・4後		2								兼1	
Content Based English 5	3・4前		2			1						
英語科指導法1	2後		2			1						
英語科指導法2	3前		2			1						
英語科指導法3	3前		2				1					
英語科指導法4	3後		2				1					
ガイド英語	3・4前		1								兼1	
時事英語	3・4後		1					1				
通訳	3・4前		1								兼1	
翻訳	3・4後		1								兼1	
英米語演習1	3前		2			2	2					
英米語演習2	3後		2			2	2					
英米語演習3	4前		2			1	1	1			兼1	
英米語演習4	4後		2			1	1	1			兼1	
英米語海外語学実習	2休		4				1				兼1	
卒業課題研究	4通		2			1						
卒業論文	4通		4			1						
小計(60科目)	—		42	44	0	3	3	1	0	0	兼13	
資格科目	天理教学部門											
	伝道実習1	1・2・3・4後				1						兼1
	伝道実習2	1・2・3・4後				1						兼1
	伝道実習3	2・3・4前				1						兼1
	伝道実習4	2・3・4後				1						兼1
小計(4科目)	—		0	0	4	0	0	0	0	0	兼1	
人文科学部門	日本語学入門	1前				2						兼1
	日本語教育入門	1後				2						兼1
	日本語語彙論	2前				2						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
英米語学科専攻科目	英語B(Integrated English)	1後	1			1				1			兼1
	英語C(Reading)	2前	1				1						兼2
	英語C(Writing)	2前	1				1						兼2
	英語C(Oral Communication 1)	2前	1			1	1						兼1
	英語C(Oral Communication 2)	2前	1			1							兼2
	英語C(Presentation)	2前	1			1	2						
	英語C(Integrated English)	2前	1				1	1					兼1
	英語D(Reading)	2後	1				1						兼2
	英語D(Writing)	2後	1				1						兼2
	英語D(Oral Communication 1)	2後	1			1	1						兼1
	英語D(Oral Communication 2)	2後	1			1							兼1
	英語D(Presentation)	2後	1				2						
	英語D(Integrated English)	2後	1				1	1					兼1
	英語E(Writing)	3前	1				1						兼2
	英語E(Presentation)	3前	1				1		1				
	英語E(Integrated English)	3前	1										兼2
	英語F(Writing)	3後	1				1						兼1
	英語F(Presentation)	3後	1				1						兼1
	英語F(Integrated English)	3後	1										兼1
	観光英語	1・2・3・4前		1			1						
	ビジネス英語	2・3・4前		1									兼1
	英米文学概論	2・3・4前		2									兼1
	伝道英語1	2・3・4前		1			1						
	伝道英語2	2・3・4後		1			1						
	英米語概論1	2・3・4前		2				1					
	英米語概論2	2・3・4前		2				1					
	英米語概論3	2・3・4前		2			1	1					
	英米語概論4	2・3・4前		2									兼2
	英米語概論5	2・3・4前		2			1						兼1
	Content Based English 1	2・3・4後		2				1					
	Content Based English 2	2・3・4後		2									兼1
Content Based English 3	3・4前		2			1							
Content Based English 4	3・4後		2									兼1	
Content Based English 5	3・4前		2			1							
英語科指導法1	2後		2			1							
英語科指導法2	3前		2			1							
英語科指導法3	3前		2				1						
英語科指導法4	3後		2				1						
ガイド英語	3・4前		1									兼1	
時事英語	3・4後		1					1					
通訳	3・4前		1									兼1	
翻訳	3・4後		1									兼1	
英米語演習1	3前		2			2	2						
英米語演習2	3後		2			2	2						
英米語演習3	4前		2			1	1	1				兼1	
英米語演習4	4後		2			1	1	1				兼1	
英米語海外語学実習	2休		4				1					兼1	
卒業課題研究	4通		2			1							
卒業論文	4通		4			1							
小計(60科目)	—		42	44	0	3	3	1	0	0	0	兼13	
資格科目	天理教学部門												
	伝道実習1	1・2・3・4後				1							兼1
	伝道実習2	1・2・3・4後				1							兼1
	伝道実習3	2・3・4前				1							兼1
	伝道実習4	2・3・4後				1							兼1
小計(4科目)	—		0	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1	
人文科学部門	日本語学入門	1前				2							兼1
	日本語教育入門	1後				2							兼1
	日本語語彙論	2前				2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	日本語文法論1	2前			2							兼1
	日本語文法論2	2後			2							兼1
	日本語音声学	2後			2							兼1
	言語の対照研究	3前			2							兼1
	日本語教授法1	3前			2							兼1
	日本語教授法2	3後			2							兼1
	第二言語習得論	3前			2							兼1
	日本語指導法	4前			2							兼1
	日本語教育評価法	4後			2							兼1
	日本語教育実習	4通			2							兼1
小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	兼2	
社会科学部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
	情報サービス論	3・4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
	情報資源組織論	3・4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3・4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3・4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論	1・2・3・4前			2							兼1
	更生保護概論	1・2・3・4前			2							兼1
	矯正保護教育(施設參觀を含む)	3・4後			2							兼1
矯正保護支援実践論	2・3・4後			2							兼2	
犯罪被害者支援論	2・3・4後			2							兼1	
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	兼13	
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2・3・4前後			2							兼1
	教育史	2・3・4前			2							兼1
	教育課程論	3・4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2・3・4前後			2							兼1
	学校教育社会学	2・3・4前後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2							兼1
	※地方大学情報連携推進事業(人文学部)の履修及び卒業要件	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2・3・4前			2							兼3
	人権教育論2	2・3・4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2							兼1
	教育史特論	2・3・4後			2							兼1
	臨床教育学特論	2・3・4通			2							兼1
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	兼12	
合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	兼28	
合計(265科目)	—	50	310	106	3	3	1	0	0	0	兼117	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	日本語文法論1	2前			2							兼1
	日本語文法論2	2後			2							兼1
	日本語音声学	2後			2							兼1
	言語の対照研究	3前			2							兼1
	日本語教授法1	3前			2							兼1
	日本語教授法2	3後			2							兼1
	第二言語習得論	3前			2							兼1
	日本語指導法	4前			2							兼1
	日本語教育評価法	4後			2							兼1
	日本語教育実習	4通			2							兼1
小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	兼2	
社会科学部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
	情報サービス論	3・4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
	情報資源組織論	3・4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3・4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3・4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3・4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論(未開講)	1・2・3・4前			2							兼1
	更生保護概論	1・2・3・4前			2							兼1
	矯正保護教育(施設參觀を含む)	3・4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2・3・4後			2							兼2
	犯罪被害者支援論	2・3・4後			2							兼1
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	兼13	
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2・3・4前後			2							兼1
	教育史	2・3・4前			2							兼1
	教育課程論	3・4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2・3・4前後			2							兼1
	学校教育社会学	2・3・4前後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2							兼1
	※地方大学情報連携推進事業(人文学部)の履修及び卒業要件	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2・3・4前			2							兼3
	人権教育論2	2・3・4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2							兼1
	教育史特論	2・3・4後			2							兼1
	臨床教育学特論	2・3・4通			2							兼1
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	兼12	
合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	兼28	
合計(269科目)	—	50	318	106	3	3	1	0	0	0	兼128	

卒業要件及び履修方法

総合教育科目：天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群2単位以上 計22単位以上
 国際学部共通科目 6単位以上
 英米学科専攻科目：必修科目42単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め12単位以上 計54単位以上
 国際学部共通科目、英米語学科専攻科目 計70単位以上
 総合教育科目、国際学部共通科目、英米語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。
 履修科目の登録上限：48単位（年間）

卒業要件及び履修方法

総合教育科目：天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群2単位以上 計22単位以上
 国際学部共通科目 6単位以上
 英米学科専攻科目：必修科目42単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め12単位以上 計54単位以上
 国際学部共通科目、英米語学科専攻科目 計70単位以上
 総合教育科目、国際学部共通科目、英米語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。
 履修科目の登録上限：48単位（年間）

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「世界の英語」 誤記のため、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「英語A (Reading)」 誤記のため、「兼3」から「准教授1」「兼2」に変更
- ・「英語A (Grammar)」 誤記のため、「准教授1」「兼2」から「兼3」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
39 科目	169 科目	57 科目	265 科目	39 科目 [-]	173 科目 [4]	57 科目 [-]	269 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{265} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡			
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡			
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡			
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡			
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため(6)		
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)		
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	60 室	44 室	22 室	11 室 (補助職員 0人)	5 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際学部 英米語学科			8 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際学部 英米語学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,369 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌/申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,369 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡	410 349		191,000 154,000			面積/錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数/申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)	
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡	武道館(柔剣道場)		弓道場				
		空手道場		トレーニングルーム		面積が錯誤により増加したため(6)		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	390千円	390千円	図書購入費	2,929千円	2,910千円 2,929千円	2,910千円 2,929千円
	共同研究費等	1,389千円 1,206千円	1,389千円 1,206千円	設備購入費	2,014千円	2,051千円 2,014千円	2,051千円 2,014千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	天理大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—	
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市袖之内町1050番地	
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上	
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上	
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上	
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上	
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上	
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—	
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上	
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上	
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上	
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上	
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上	
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—	
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—	
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—	
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市袖之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 英米語学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学) 異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication 英語A (Grammar) 英語A (Oral Communication 1) 英語B (Grammar) 英語B (Oral Communication 1) 英語C (Presentation) 英語E (Writing) 観光英語 英米語概論5 Content Based English 3 英米語演習1 英米語演習2	専	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学) 異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication 英語A (Grammar) 英語A (Oral Communication 1) 英語B (Grammar) 英語B (Oral Communication 1) 英語C (Presentation) 英語E (Writing) 観光英語 英米語概論5 Content Based English 3 英米語演習1 英米語演習2
専	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア) Japanese Religions 英語C (Oral Communication 2) 英語D (Oral Communication 2) 英語E (Presentation) 英語F (Writing) 英語F (Presentation) 伝道英語1 伝道英語2 Content Based English 5 英米語演習1 英米語演習2 卒業課題研究 卒業論文	専	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア) Japanese Religions 英語C (Oral Communication 2) 英語D (Oral Communication 2) 英語E (Presentation) 英語F (Writing) 英語F (Presentation) 伝道英語1 伝道英語2 Content Based English 5 英米語演習1 英米語演習2 卒業課題研究 卒業論文
専	教授	小林 千穂 <令和6年4月> Ph.D (教育学) (米國) 基礎ゼミナール2 英語A (Oral Communication 1) 英語A (Integrated English) 英語B (Oral Communication 1) 英語B (Integrated English) 英語C (Oral Communication 1) 英語D (Oral Communication 1) 英米語概論3 英語科指導法1 英語科指導法2 英米語演習1 英米語演習2 英米語演習3 英米語演習4	専	教授	小林 千穂 <令和6年4月> Ph.D (教育学) (米國) 基礎ゼミナール2 英語A (Oral Communication 1) 英語A (Integrated English) 英語B (Oral Communication 1) 英語B (Integrated English) 英語C (Oral Communication 1) 英語D (Oral Communication 1) 英米語概論3 英語科指導法1 英語科指導法2 英米語演習1 英米語演習2 英米語演習3 英米語演習4
専	准教授	Mano George <令和6年4月> M.A (米國) 英語A (Oral Communication 2) 英語B (Oral Communication 2) 英語C (Integrated English) 英語D (Integrated English) 英語E (Writing) 英語E (Integrated English) 英語F (Writing) 英語F (Integrated English) 英米語概論4 Content Based English 2 英米語演習1 英米語演習2	専	准教授	Mano George <令和6年4月> M.A (米國) 英語A (Oral Communication 2) 英語B (Oral Communication 2) 英語C (Integrated English) 英語D (Integrated English) 英語E (Writing) 英語E (Integrated English) 英語F (Writing) 英語F (Integrated English) 英米語概論4 Content Based English 2 英米語演習1 英米語演習2
専	准教授	山本 享史 <令和6年4月> 修士(教育学) 英語A (Reading) 英語A (Integrated English) 英語B (Reading) 英語C (Reading) 英語C (Writing) 英語D (Reading) 英語D (Writing) 英米語概論3 英語科指導法3 英語科指導法4 英米語演習1 英米語演習2	専	准教授	山本 享史 <令和6年4月> 修士(教育学) 英語A (Reading) 英語A (Integrated English) 英語B (Reading) 英語C (Reading) 英語C (Writing) 英語D (Reading) 英語D (Writing) 英米語概論3 英語科指導法3 英語科指導法4 英米語演習1 英米語演習2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
専任	准教授	小松崎 利明 <令和6年4月> 修士(行政学) MA (Conflict Resolution) (イギリス) MPhil (Peace Studies) (イギリス) ※ 英語A (Writing) 英語B (Writing) 英語C (Oral Communication 1) 英語C (Presentation) 英語D (Oral Communication 1) 英語D (Presentation) 英語D (Integrated English) 英米語概論1 Content Based English 1 英米語演習1 英米語演習2 英米語演習3 英米語演習4 英米語海外語学実習	小松崎 利明 <令和6年4月> 修士(行政学) MA (Conflict Resolution) (イギリス) MPhil (Peace Studies) (イギリス) ※ 英語A (Writing) 英語B (Writing) 英語C (Oral Communication 1) 英語C (Presentation) 英語D (Oral Communication 1) 英語D (Presentation) 英語D (Integrated English) 英米語概論1 Content Based English 1 英米語演習1 英米語演習2 英米語演習3 英米語演習4 英米語海外語学実習
専任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学) ※ 基礎ゼミナール1 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論 英語A (Writing) 英語B (Writing) 英語C (Presentation) 英語C (Integrated English) 英語D (Presentation) 英米語概論2 英米語演習1 英米語演習2 英米語海外語学実習	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学) ※ 基礎ゼミナール1 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論 英語A (Writing) 英語B (Writing) 英語C (Presentation) 英語C (Integrated English) 英語D (Presentation) 英米語概論2 英米語演習1 英米語演習2 英米語海外語学実習
専任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学) 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 Business Communication 英語A (Oral Communication 2) 英語B (Oral Communication 1) 英語B (Oral Communication 2) 英語B (Integrated English) 英語C (Integrated English) 英語D (Integrated English) 英語E (Presentation) 時事英語 英米語演習1 英米語演習2 英米語演習3 英米語演習4 英米語海外語学実習	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学) 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 Business Communication 英語A (Oral Communication 2) 英語B (Oral Communication 1) 英語B (Oral Communication 2) 英語B (Integrated English) 英語C (Integrated English) 英語D (Integrated English) 英語E (Presentation) 時事英語 英米語演習1 英米語演習2 英米語演習3 英米語演習4 英米語海外語学実習
兼任	教授	魯 ゼウオン <令和6年4月> 博士(社会学) カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論	魯 ゼウオン <令和6年4月> 博士(社会学) カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論
兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A. (タイ) 多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会	野津 幸治 <令和6年4月> M.A. (タイ) 多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会
兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士 ※ 多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士 ※ 多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論) 修士 (フランス) 多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論) 修士 (フランス) 多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ) 多文化理解と言語(スペイン語)	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ) 多文化理解と言語(スペイン語)
兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究) 多文化理解と言語(ポルトガル語)	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究) 多文化理解と言語(ポルトガル語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 教授		初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)	兼任 教授		初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論			グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論
兼任 教授		藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※	兼任 教授		藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※
		国際文化論 世界の歴史と社会 世界遺産論			世界の歴史と社会 世界遺産論
兼任 教授		谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任 教授		谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)
		アジアの歴史と社会			アジアの歴史と社会
兼任 教授		五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任 教授		五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会			国際文化論 スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会
兼任 教授		岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※			
		日本事情 1 日本事情 2			
兼任 教授		菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※	兼任 教授		菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※
		日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任 教授		松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任 教授		松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		多文化理解と言語(日本語)			多文化理解と言語(日本語)
兼任 教授		岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米國)	兼任 教授		岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米國)
		天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任 教授		東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米國)	兼任 教授		東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米國)
		天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History			天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History
兼任 教授		齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※	兼任 教授		齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習 1			博物館実習 1
兼任 教授		幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任 教授		幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸能			宗教と芸能
兼任 教授		小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士	兼任 教授		小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習 1			博物館実習 1

専任・兼任の別	氏名 職名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 職名 <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	金山 元春 担当授業科目名 金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)	金山 元春 担当授業科目名 金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)
兼任	生徒指導・進路指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
兼任	情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論	情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)
兼任	ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成	ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)
兼任	データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理	データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)
兼任	天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)	天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)
兼任	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※
兼任	ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	仲 淳 <令和6年4月> 修士(教育学)※	仲 淳 <令和6年4月> 修士(教育学)※
兼任	学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援	学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米国)※	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米国)※
兼任	図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論	図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士
兼任	国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	奥田 真紀子 <令和6年4月> 修士(学術)※	
兼任	保健医療の仕組みと健康づくり	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任 教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学)	担当授業科目名	兼任 教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学)
		基礎からわかる生物・化学		基礎からわかる生物・化学
兼任 教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米国)	担当授業科目名	兼任 教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米国)
		オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会		オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会
兼任 教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド)	担当授業科目名	兼任 教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド)
		ジェンダー・セクシャリティ		ジェンダー・セクシャリティ
兼任 教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学)	担当授業科目名	兼任 教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学)
		哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2		哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任 准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン)	担当授業科目名	兼任 准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン)
		日本文化概論		日本文化概論
兼任 准教授	中村 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※	担当授業科目名	兼任 教授	中村 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※
		ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会		ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会
兼任 准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究)	担当授業科目名	兼任 准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究)
		アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会		アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会
兼任 講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)	担当授業科目名	兼任 講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)
		日本語教育入門 日本語語彙論		日本語教育入門 日本語語彙論
兼任 准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)	担当授業科目名	兼任 准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任 准教授	中村 久美 <令和6年4月> Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama (アイルランド)	担当授業科目名		
		多文化理解と言語(英語) 世界の文学1 世界の文学2 英米文学概論 英米語概論4		
兼任 准教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)	担当授業科目名	兼任 教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)
		実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B 英語A (Grammar) 英語B (Grammar)		実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B 英語A (Grammar) 英語B (Grammar)
兼任 准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)	担当授業科目名	兼任 准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		
兼任	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士(文学)		
		基礎からわかる近代史		
兼任	講師	箱田 徹 <令和6年4月> 博士(学術)		
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2		
兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	准教授
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2		
兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ		
兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	准教授
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習		
兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割		
兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ		
兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ		
兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米國)	兼任	講師
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4		
兼任	講師	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会		
兼任	講師	須永 哲思 <令和6年4月> 博士(教育学)		
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 教育史特論		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアプランニング キャリアデザイン1 審議からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松木 優也 <令和6年4月> 修士(体育学)※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	講師	尾上 貴行 <令和6年4月> Master of Arts (Communications) (オーストラリア)	兼任	准教授	尾上 貴行 <令和6年4月> Master of Arts (Communications) (オーストラリア)
		英語A (Oral Communication 1) 英米語概論5			英語A (Oral Communication 1) 英米語概論5
兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	熊木 勉 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
					多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
			兼任	教授	王 向華 <令和6年4月> 博士(社会人類学)
					日本事情1 日本事情2
			兼任	教授	森元 伸枝 <令和6年4月> 修士(経営学)※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 孝弘 <令和6年4月> 修士(学術)
					天理大学特別講義3
			兼任	教授	白石 晃 <令和6年4月> 修士(教育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 <令和6年4月> 博士(医学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 恵理 <令和6年4月> 博士(医学)
					保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	高池 朋成 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
					多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	山本 佳世子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学) キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	松山 尚蓮 <令和6年4月> 修士(体育学) 健康スポーツ科学1
			兼任	助教	西田 昇平 <令和6年4月> 修士(体育学) 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	准教授	Steve Jugovic <令和6年4月> Master of Applied Linguistics (オーストラリア) 英語A (Oral Communication 2) 英語A (Integrated English)	兼任	准教授	Steve Jugovic <令和6年4月> Master of Applied Linguistics (オーストラリア) 英語A (Oral Communication 2) 英語A (Integrated English)
兼任	講師	Mano George <令和9年4月> M.A (米国) 英語A (Oral Communication 2) 英語B (Oral Communication 2) 英語C (Integrated English) 英語D (Integrated English) 英語E (Writing) 英語E (Integrated English) 英語F (Writing) 英語F (Integrated English) 英米語概論4 Content Based English 2 英米語演習3 英米語演習4 英米語海外語学実習	兼任	講師	Mano George <令和9年4月> M.A (米国) 英語A (Oral Communication 2) 英語B (Oral Communication 2) 英語C (Integrated English) 英語D (Integrated English) 英語E (Writing) 英語E (Integrated English) 英語F (Writing) 英語F (Integrated English) 英米語概論4 Content Based English 2 英米語演習3 英米語演習4 英米語海外語学実習
兼任	講師	蔡 珮菁 <令和6年4月> 博士(文学) 多文化理解と言語(中国語)	兼任	講師	蔡 珮菁 <令和6年4月> 博士(文学) 多文化理解と言語(中国語)
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア) 多文化理解と言語(ロシア語)	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア) 多文化理解と言語(ロシア語)
兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学) 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティー観光研究1 ホスピタリティー観光研究2 国内旅行実務 海外旅行実務	兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学) 天理大学特別職6 天理大学特別職6 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティー観光研究1 ホスピタリティー観光研究2 国内旅行実務 海外旅行実務
兼任	講師	乾 拓也 <令和6年4月> 修士(文学) 社会言語学1 社会言語学2 英語A (Grammar) 英語B (Grammar) 英語C (Writing) 英語D (Writing)	兼任	講師	乾 拓也 <令和6年4月> 修士(文学) 社会言語学1 社会言語学2 英語A (Grammar) 英語B (Grammar) 英語C (Writing) 英語D (Writing)
兼任	講師	大西 善徳 <令和6年4月> 修士(宗教学)(イギリス) 英語A (Integrated English) 英語B (Integrated English) ガイド英語 通訳 翻訳	兼任	講師	大西 善徳 <令和6年4月> 修士(宗教学)(イギリス) 英語A (Integrated English) 英語B (Integrated English) ガイド英語 通訳 翻訳

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 講師		鈴島 梓 <令和6年4月> 博士(英文学)	兼任 講師		鈴島 梓 <令和6年4月> 博士(英文学)
		英語A (Writing) 英語A (Oral Communication 1) 英語B (Writing) 英語B (Oral Communication 1) 英語C (Reading) 英語C (Oral Communication 1) 英語D (Reading) 英語D (Oral Communication 1)			英語A (Writing) 英語A (Oral Communication 1) 英語B (Writing) 英語B (Oral Communication 1) 英語C (Reading) 英語C (Oral Communication 1) 英語D (Reading) 英語D (Oral Communication 1) 英米文学概論
兼任 講師		田中 善紀 <令和6年4月> 博士(政策科学)	兼任 講師		田中 善紀 <令和6年4月> 博士(政策科学)
		英語A (Grammar) 英語B (Grammar) 英語C (Reading) 英語D (Reading)			英語A (Grammar) 英語B (Grammar) 英語C (Reading) 英語D (Reading)
兼任 講師		田林 宏章 <令和6年4月> 宗教学修士	兼任 講師		田林 宏章 <令和6年4月> 宗教学修士
		英語A (Reading) 英語B (Reading)			英語A (Reading) 英語B (Reading)
兼任 講師		日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米園)	兼任 講師		日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米園)
		TOEFL Academic English 英語C (Oral Communication 2) 英語D (Oral Communication 2) 英語E (Writing)			TOEFL Academic English 英語C (Oral Communication 2) 英語D (Oral Communication 2) 英語E (Writing)
兼任 講師		森田 晃司 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任 講師		森田 晃司 <令和6年4月> 修士(文学)※
		英語A (Reading) 英語B (Reading) 英語C (Writing) 英語D (Writing)			英語A (Reading) 英語B (Reading) 英語C (Writing) 英語D (Writing)
兼任 講師		安田 明洋 <令和8年4月> 修士(宗教学)(米園)	兼任 講師		安田 明洋 <令和8年4月> 修士(宗教学)(米園)
		英語E (Integrated English)			英語E (Integrated English)
兼任 講師		Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任 講師		Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Culture and Society 英語C (Oral Communication 2) 英語F (Presentation) ビジネス英語 Content Based English 4			Japanese Culture and Society 英語C (Oral Communication 2) 英語F (Presentation) ビジネス英語 Content Based English 4
兼任 講師		鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国)	兼任 講師		鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国)
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2			韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任 講師		吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士	兼任 講師		吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)			多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
兼任 講師		山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任 講師		山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学)※
		多文化理解と言語(ドイツ語)			多文化理解と言語(ドイツ語)
兼任 講師		初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)	兼任 講師		初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論			グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論
兼任 講師		家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)	兼任 講師		家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)
		教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2			教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	小林 和代	兼任	講師	小林 和代
		<令和6年4月> 文学修士			<令和6年4月> 文学修士
		中国語1 中国語2			中国語1 中国語2
兼任	講師	井上 成人	兼任	講師	井上 成人
		<令和6年4月> 文学士			<令和6年4月> 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江	兼任	講師	伊橋 幸江
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延	兼任	講師	上原 道延
		<令和7年4月> 教育学士			<令和7年4月> 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之	兼任	講師	梅田 正之
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人	兼任	講師	加藤 匡人
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎	兼任	講師	澤井 一郎
		<令和6年4月> 修士(文学)※			<令和6年4月> 修士(文学)※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教	兼任	講師	松山 常教
		<令和6年4月> 学士(宗教学)			<令和6年4月> 学士(宗教学)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直	兼任	講師	安井 幹直
		<令和6年4月> M.A(文学修士)(米國)			<令和6年4月> M.A(文学修士)(米國)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵	兼任	講師	荒田 恵
		<令和9年4月> 修士(文学)			<令和9年4月> 修士(文学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二	兼任	講師	乾 誠二
		<令和9年4月> 文学士			<令和9年4月> 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純	兼任	講師	齊藤 純
		<令和9年4月> 文学修士※			<令和9年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁	兼任	講師	中尾 徳仁
		<令和9年4月> 学士(教育学)			<令和9年4月> 学士(教育学)
		博物館実習2			博物館実習2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	今治 周平 <令和6年4月> 法務博士	兼任	講師	今治 周平 <令和6年4月> 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 <令和6年4月> 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 <令和6年4月> 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 <令和6年4月> 修士(商学)※	兼任	講師	加藤 康 <令和6年4月> 修士(商学)※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 <令和6年4月> 博士(理学)			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※	兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)	兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)	兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)
		日本手話A 日本手話B			日本手話A 日本手話B
兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 <令和6年4月> 博士(農学)			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士
		教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)			教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)
兼任	講師	福田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)	兼任	講師	福田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士
		矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)			矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)
兼任	講師	高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)	兼任	講師	北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 <令和7年4月> 体育学士	兼任	講師	山本 道次 <令和7年4月> 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ
			兼任	講師	芳賀 達彦 <令和6年4月> 修士(人間科学)
					社会学
			兼任	講師	北岡 一弘 <令和6年4月> 修士(学術) 修士(英文学) 修士(英語教育学)
					多文化理解と言語(英語)
			兼任	講師	山口 健一 <令和6年4月> 修士(英文学)※
					世界の文学1 世界の文学2
			兼任	講師	片山 雅男 <令和6年4月> 理学修士
					地球環境論

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	金岡 直子 <令和6年4月> 博士(文学) キャリアプランニング
			兼任	講師	箱田 敬 <令和6年4月> 博士(学術) 哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 <令和6年4月> 学士(理学) 科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 <令和7年4月> 博士(教育学) 教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護福祉学 教職実践講習(中・高) 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	山本 樹 <令和6年4月> 修士(体育学) 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の6月1日時点の年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	6
	3
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
3	3	1	0	7	0	3	4	1	0	8	0
(3)	(4)	(1)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
3	3	1	0	7	0	3	3	1	0	7	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学者数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学者数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 英米語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）

・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部英米語学科は、既設の国際学部外国語学科英米語専攻を改編し、令和6年に開設した。教育研究上の目的として、「今や事実上の国際共通語となっている英語を集中的に学習し、留学や語学実習において語学力を確実なものにさせる。クラスは習熟度別編成を行い、それぞれの目標レベルに向かって学習・習得させる。加えて英米語圏の文化・社会などを多面的に英語によって学ばせ、国際社会で活躍できる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・令和5年4月公表
- b 公表方法
 - ・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。
今回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

- a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [(調査結果公表後1ヶ月以内) ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 974
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
天理大学 国際学部 国際文化学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜国際文化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人天理大学

(2) 大学名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学部長	(ナガモリ ミツノブ) 長森 美信 (令和6年4月)		
学科長等	(ヤマダ マサノブ) 山田 政信 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに入力してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際文化学科 学士(国際文化学)	文学関係	4 年	50 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	200 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	-	1.00 倍	-												
志願者数	() []	-	1.00 倍	-												
受験者数	() []	-	1.00 倍	-												
合格者数	() []	-	1.00 倍	-												
B 入学者数	() []	-	1.00 倍	-												
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	50 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際文化学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	英語1	1-2-3-4前	1								兼15
	英語2	1-2-3-4後	1								兼15
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼8
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼6
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(45科目)	-		8	69	0	0	0	0	0	0	兼55
キャリア教育科目	キャリアプランニング	1-2-3前		2							兼3
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	英語1	1-2-3-4前	1								兼16
	英語2	1-2-3-4後	1								兼16
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼2
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情1	1-2-3-4前		2							兼1
	日本事情2	1-2-3-4後		2							兼1
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼11
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼8
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアクア天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(49科目)	-		8	77	0	0	0	0	0	0	兼63
キャリア教育科目	キャリアプランニング	1-2-3前		2							兼5
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通	2								兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通	1								兼1
	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			1	1				
	基礎ゼミナール2	1後	2			2					
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前後	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後	2								兼2
	情報処理	2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後	2								兼4
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後	2								兼1
小計(12科目)	-	2	22	0	2	1	0	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後	2								兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後	2								兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後	2								兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後	2								兼1
	統計学1	1-2-3-4前	2								兼1
	統計学2	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学2	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前	2								兼2
	法学	1-2-3-4前	2								兼2
	経済学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経済学2	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学	1-2-3-4前	2								兼1
	民法1	1-2-3-4前	2								兼1
	民法2	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法1	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法2	1-2-3-4前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	心理学1	1-2-3-4前	2								兼2
	心理学2	1-2-3-4前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3-4前	2								兼1
	障害学	1-2-3-4前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前	2								兼1
	世界の文学2	1-2-3-4前	2								兼1
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3-4前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3-4前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通	2								兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通	1								兼1
	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			1			1		
	基礎ゼミナール2	1後	2					1		1	
	データサイエンス・AI入門	1前後	2					1			兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前後	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後	2								兼2
	情報処理	2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後	2								兼5
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後	2								兼1
小計(12科目)	-	2	22	0	2	0	1	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後	2								兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後	2								兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後	2								兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後	2								兼1
	統計学1	1-2-3-4前	2								兼1
	統計学2	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学2	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前	2								兼2
	法学	1-2-3-4前	2								兼2
	経済学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経済学2	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学	1-2-3-4前	2								兼1
	民法1	1-2-3-4前	2								兼1
	民法2	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法1	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法2	1-2-3-4前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	心理学1	1-2-3-4前	2								兼2
	心理学2	1-2-3-4前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3-4前	2								兼1
	障害学	1-2-3-4前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前	2								兼1
	世界の文学2	1-2-3-4前	2								兼1
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3-4前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3-4前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ニュースポーツ	2-3-4期		1								兼2
	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼32
	合計(106科目)	—	10	184	0	2	1	0	0	0	0	兼86
国際学部共通科目	日本文化概論	1-2-3-4期		2								兼1
	国際文化論	1-2-3-4期		2		1						
	日本と国際社会	1-2-3-4期		2								兼1
	グローバル文化論	2-3-4期		2								兼1
	アジア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	オセアニア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2-3-4期		2			1					
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2-3-4期		2		1						
	アフリカ地域文化論	2-3-4期		2			1					
	アメリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	世界の歴史と社会	3-4期		2		1						
	アジアの歴史と社会	3-4期		2		1						
	オセアニアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3-4期		2			1					
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3-4期		2		1						
	アフリカの歴史と社会	3-4期		2			1					
	アメリカの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	世界の英語	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1-2-3-4期		2								兼1
	英語音声学1	2-3-4期		2								兼1
	英語音声学2	2-3-4期		2								兼1
	英語学概論	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学1	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学2	2-3-4期		2								兼1
	言語学概論1	3-4期		2								兼1
	言語学概論2	3-4期		2								兼1
	College English Grammar A	1-2-3-4期		1								兼1
	College English Grammar B	1-2-3-4期		1								兼1
	Business Communication	1-2-3-4期		1								兼1
	TOEFL Academic English	1-2-3-4期		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese History	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese Religions	1-2-3-4期		2								兼1
	観光地理学	2-3-4期		2								兼1
	観光デザイン論	2-3-4期		2								兼1
	観光業界論	2-3-4期		2								兼1
	世界遺産論	2-3-4期		2		1						
	ホスピタリティ観光研究1	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究2	2-3-4期		2								兼1
	国内旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	海外旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	国際スポーツ協力論	2-3-4期		1								兼2
	国際スポーツ交流実習	2-3-4期		1								兼2
小計(44科目)	—	0	82	0	3	2	0	0	0	0	0	兼17
国際文化学科専攻科目	やさしい日本語	1前後	2									兼1
	異文化理解入門ゼミナール1	1前	2			1						
	異文化理解入門ゼミナール2	1後	2			1						
	多文化共生入門ゼミナール1	1前	2			1						
	多文化共生入門ゼミナール2	1後	2			1						
	国際事情入門ゼミナール1	1前	2		1							
	国際事情入門ゼミナール2	1後	2		1							
	歴史文化入門ゼミナール1	1前	2		1							
	歴史文化入門ゼミナール2	1後	2		1							
	異文化理解ゼミナール1	2前	2									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ニュースポーツ	2-3-4期		1								兼2
	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼34
	合計(110科目)	—	10	192	0	2	0	1	0	0	0	兼97
国際学部共通科目	日本文化概論	1-2-3-4期		2								兼1
	国際文化論	1-2-3-4期		2		1						
	日本と国際社会	1-2-3-4期		2								兼1
	グローバル文化論	2-3-4期		2								兼1
	アジア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	オセアニア地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2-3-4期		2			1					
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2-3-4期		2		1						
	アフリカ地域文化論	2-3-4期		2			1					
	アメリカ地域文化論	2-3-4期		2								兼1
	世界の歴史と社会	3-4期		2		1						
	アジアの歴史と社会	3-4期		2		1						
	オセアニアの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3-4期		2			1					
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3-4期		2		1						
	アフリカの歴史と社会	3-4期		2			1					
	アメリカの歴史と社会	3-4期		2								兼1
	世界の英語	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1-2-3-4期		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1-2-3-4期		2								兼1
	英語音声学1	2-3-4期		2								兼1
	英語音声学2	2-3-4期		2								兼1
	英語学概論	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学1	2-3-4期		2								兼1
	社会言語学2	2-3-4期		2								兼1
	言語学概論1	3-4期		2								兼1
	言語学概論2	3-4期		2								兼1
	College English Grammar A	1-2-3-4期		1								兼1
	College English Grammar B	1-2-3-4期		1								兼1
	Business Communication	1-2-3-4期		1								兼1
	TOEFL Academic English	1-2-3-4期		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese History	1-2-3-4期		2								兼1
	Japanese Religions	1-2-3-4期		2								兼1
	観光地理学	2-3-4期		2								兼1
	観光デザイン論	2-3-4期		2								兼1
	観光業界論	2-3-4期		2								兼1
	世界遺産論	2-3-4期		2		1						
	ホスピタリティ観光研究1	2-3-4期		2								兼1
	ホスピタリティ観光研究2	2-3-4期		2								兼1
	国内旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	海外旅行実務	2-3-4期		2								兼1
	国際スポーツ協力論	2-3-4期		1								兼2
	国際スポーツ交流実習	2-3-4期		1								兼2
小計(44科目)	—	0	82	0	4	1	0	0	0	0	0	兼17
国際文化学科専攻科目	やさしい日本語	1前後	2									兼1
	異文化理解入門ゼミナール1	1前	2			1						
	異文化理解入門ゼミナール2	1後	2			1						
	多文化共生入門ゼミナール1	1前	2			1						
	多文化共生入門ゼミナール2	1後	2			1						
	国際事情入門ゼミナール1	1前	2		1							
	国際事情入門ゼミナール2	1後	2		1							
	歴史文化入門ゼミナール1	1前	2		1							
	歴史文化入門ゼミナール2	1後	2		1							
	異文化理解ゼミナール1	2前	2									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際文化学科専攻科目	異文化理解ゼミナール2	2後	2								兼1	
	多文化共生ゼミナール1	2前	2		1							
	多文化共生ゼミナール2	2後	2		1							
	国際事情ゼミナール1	2前	2			1						
	国際事情ゼミナール2	2後	2			1						
	歴史文化ゼミナール1	2前	2			1						
	歴史文化ゼミナール2	2後	2			1						
	社会調査法入門	1前	2								兼1	
	社会調査法1	1後	2								兼1	
	社会調査法2	1前	2								兼1	
	社会調査法実践A	2前	2								兼1	
	社会調査法実践B	2後	2								兼1	
	質的調査研究	2前	2								兼1	
	宗教学	1前	2			1						
	社会学概論	1後	2			1	2					
	多文化共生学	2前	2				1					
	国際法	2-3-4前	2								兼1	
	国際政治学	2-3-4前	2								兼1	
	国際関係論	2-3-4前	2			1						
	国際経済史	2-3-4後	2			1						
	経済学概論	2-3-4前	2								兼1	
	環境政治論	2-3-4後	2				1					
	地域統合論	2-3-4後	2				1					
	比較宗教学	2-3-4前	2			1						
	文化人類学概論	2-3-4後	2								兼1	
	ボランティアネットワーク論	2-3-4前	2								兼1	
	異文化理解論	3後	2			1						
多文化共生論	3前	2								兼1		
国際事情論	3後	2								兼1		
歴史文化論	3前	2			1							
国際文化演習1	3前	2			2	2						
国際文化演習2	3後	2			2	2						
国際文化演習3	4前	2			3					兼1		
国際文化演習4	4後	2			3					兼1		
社会・公民科指導法1	3前	2								兼1		
社会・公民科指導法2	3後	2								兼1		
多文化体験活動1	1-2-3-4後	1			1							
多文化体験活動2	1-2-3-4後	1			1							
卒業論文	4通	4			1							
小計(49科目)	—	14	84	0	4	2	0	0	0	兼11		
資格科目	天理教学部門	伝道実習1	1-2-3-4後		1						兼1	
		伝道実習2	1-2-3-4後		1						兼1	
		伝道実習3	2-3-4前		1						兼1	
		伝道実習4	2-3-4後		1						兼1	
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
日本語教授法2	3後			2						兼1		
第二言語習得論	3前			2						兼1		
日本語指導法	4前			2						兼1		
日本語教育評価法	4後			2						兼1		
日本語教育実習	4通			2						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
国際文化学科専攻科目	異文化理解ゼミナール2	2後	2									兼1	
	多文化共生ゼミナール1	2前	2		1								
	多文化共生ゼミナール2	2後	2		1								
	国際事情ゼミナール1	2前	2				1						
	国際事情ゼミナール2	2後	2				1						
	歴史文化ゼミナール1	2前	2				1						
	歴史文化ゼミナール2	2後	2				1						
	社会調査法入門	1前	2									兼1	
	社会調査法1	1後	2									兼1	
	社会調査法2	1前	2									兼1	
	社会調査法実践A	2前	2									兼1	
	社会調査法実践B	2後	2									兼1	
	質的調査研究	2前	2									兼1	
	宗教学	1後	2			1							
	社会学概論	1前	2			2	1						
	多文化共生学	2前	2				1						
	国際法	2-3-4前	2									兼1	
	国際政治学	2-3-4前	2									兼2	
	国際関係論	2-3-4前	2			1							
	国際経済史	2-3-4後	2			1							
	経済学概論	2-3-4前	2									兼1	
	環境政治論	2-3-4後	2					1					
	地域統合論	2-3-4後	2					1					
	比較宗教学	2-3-4前	2			1							
	文化人類学概論	2-3-4後	2									兼1	
	ボランティアネットワーク論	2-3-4前	2									兼1	
	異文化理解論	3後	2			1							
多文化共生論	3前	2									兼1		
国際事情論	3後	2									兼1		
歴史文化論	3前	2			1								
国際文化演習1	3前	2			3	1							
国際文化演習2	3後	2			3	1							
国際文化演習3	4前	2			3						兼1		
国際文化演習4	4後	2			3						兼1		
社会・公民科指導法1	3前	2									兼1		
社会・公民科指導法2	3後	2									兼1		
多文化体験活動1	1-2-3-4後	1			1								
多文化体験活動2	1-2-3-4後	1			1								
卒業論文	4通	4			1								
小計(49科目)	—	14	84	0	5	1	0	0	0	0	兼11		
資格科目	天理教学部門	伝道実習1	1-2-3-4後		1							兼1	
		伝道実習2	1-2-3-4後		1							兼1	
		伝道実習3	2-3-4前		1							兼1	
		伝道実習4	2-3-4後		1							兼1	
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
	人文科学部門	日本語学入門	1前			2							兼1
		日本語教育入門	1後			2							兼1
		日本語語彙論	2前			2							兼1
		日本語文法論1	2前			2							兼1
		日本語文法論2	2後			2							兼1
		日本語音声学	2後			2							兼1
		言語の対照研究	3前			2							兼1
		日本語教授法1	3前			2							兼1
日本語教授法2	3後			2							兼1		
第二言語習得論	3前			2							兼1		
日本語指導法	4前			2							兼1		
日本語教育評価法	4後			2							兼1		
日本語教育実習	4通			2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学部	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	兼2
	図書館情報システム論	2-3-4後			2							兼1
	情報サービス論	3-4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2-3-4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3-4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2-3-4前			2							兼1
	情報資源組織論	3-4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3-4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3-4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論	1-2-3-4後			2							兼1
	更生保護概論	1-2-3-4後			2							兼1
	矯正保護教育(施設参照を含む)	3-4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2-3-4後			2							兼2
	犯罪被害者支援論	2-3-4後			2							兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	兼13
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2-3-4後			2							兼1
	教育史	2-3-4前			2							兼1
	教育課程論	3-4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2-3-4後			2							兼1
	学校教育社会学	2-3-4後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3-4前後			2							兼1
	特別な支援の必要な生徒の理解	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2-3-4後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2-3-4後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4後			2							兼1
教育史特論	2-3-4後			2							兼1	
臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1	
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	兼12	
合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	兼28	
合計(256科目)	—	24	350	106	4	2	0	0	0	0	兼125	
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群2単位以上 計22単位以上 国際学部共通科目 選択必修科目の必要単位を含め16単位以上 国際文化学科専攻科目:必修科目14単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め36単位以上 計50単位以上 国際学部共通科目、国際文化学科専攻科目 計70単位以上 総合教育科目、国際学部共通科目、国際文化学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学部	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	0	兼2
	図書館情報システム論	2-3-4後			2							兼1
	情報サービス論	3-4前			2							兼1
	児童・YAサービス論	2-3-4前			2							兼1
	情報サービス演習1	3-4後			2							兼1
	情報サービス演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源概論	2-3-4前			2							兼1
	情報資源組織論	3-4前			2							兼1
	情報資源組織演習1	3-4後			2							兼1
	情報資源組織演習2	3-4後			2							兼1
	図書館情報資源特論	3-4前			2							兼1
	図書館情報学特論	4前			2							兼1
	博物館実習1	3前			2							兼2
	博物館実習2	4通			1							兼3
	矯正概論(未開講)	1-2-3-4後			2							兼1
	更生保護概論	1-2-3-4後			2							兼1
	矯正保護教育(施設参照を含む)	3-4後			2							兼1
	矯正保護支援実践論	2-3-4後			2							兼2
	犯罪被害者支援論	2-3-4後			2							兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	0	兼13
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2-3-4後			2							兼1
	教育史	2-3-4前			2							兼1
	教育課程論	3-4前後			2							兼1
	学校教育心理学	2-3-4後			2							兼1
	学校教育社会学	2-3-4後			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3-4前後			2							兼1
	特別な支援の必要な生徒の理解	3前後			2							兼2
	教育相談の理論及び方法	2-3-4後			2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2-3-4後			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4後			2							兼1
教育史特論	2-3-4後			2							兼1	
臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1	
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	0	兼12	
合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	0	兼28	
合計(260科目)	—	24	358	106	5	1	1	0	0	0	兼134	
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群2単位以上 計22単位以上 国際学部共通科目 選択必修科目の必要単位を含め16単位以上 国際文化学科専攻科目:必修科目14単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め36単位以上 計50単位以上 国際学部共通科目、国際文化学科専攻科目 計70単位以上 総合教育科目、国際学部共通科目、国際文化学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎ゼミナール1」 担当者の変更により、「教授1」「准教授1」から「教授1」「講師1」に変更
- ・「基礎ゼミナール2」 担当者の変更により、「教授2」から「教授1」「講師1」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「ヨーロッパ地域文化論」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「ヨーロッパの歴史と社会」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「多文化共生入門ゼミナール1」「多文化共生入門ゼミナール2」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「歴史文化ゼミナール1」「歴史文化ゼミナール2」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「宗教学」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「社会学概論」 開講期間の見直しにより、「後期」から「前期」に変更。担当者の職位変更により、「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更
- ・「多文化共生学」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「国際政治学」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「地域統合論」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「国際文化演習1」「国際文化演習2」 担当者の職位変更により、「教授2」「准教授2」から「教授3」「准教授1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	187 科目	57 科目	256 科目	12 科目 [-]	191 科目 [4]	57 科目 [-]	260 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{256} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡			
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡			
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡			
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡			
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため(6)		
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)		
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	60 室	44 室	22 室	11 室 (補助職員 0人)	5 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際学部 国際文化学科			8 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際学部 国際文化学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌/申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数			
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡		410 349		191,000 154,000		面積/錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数/申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)	
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡		武道館(柔剣道場)		弓道場		面積が錯誤により増加したため(6)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	390千円	390千円	図書購入費	2,914千円	2,531千円 2,914千円	2,531千円 2,914千円
	共同研究費等	1,235千円 1,055千円	1,235千円 1,055千円	設備購入費	1,299千円	1,388千円 1,299千円	1,388千円 1,299千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。
 なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	天理大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—	
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市袖之内町1050番地	
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上	
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上	
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上	
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上	
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上	
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—	
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上	
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上	
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上	
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上	
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上	
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—	
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—	
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—	
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市袖之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際文化学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)	専	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論 国際事情論			グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論 国際事情論
専	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※	専	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※
		基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 国際文化論 世界の歴史と社会 世界遺産論 国際経済史 比較宗教学 異文化理解論			基礎ゼミナール1 世界の歴史と社会 世界遺産論 国際経済史 比較宗教学 異文化理解論
専	教授	山田 政信 <令和6年4月> 修士(地域研究) 修士(文学)※	専	教授	山田 政信 <令和6年4月> 修士(地域研究) 修士(文学)※
		基礎ゼミナール2 多文化共生ゼミナール1 多文化共生ゼミナール2 宗教学 社会学概論 ※ 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4 多文化体験活動1 多文化体験活動2 卒業論文			多文化共生ゼミナール1 多文化共生ゼミナール2 宗教学 社会学概論 ※ 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4 多文化体験活動1 多文化体験活動2 卒業論文
専	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)	専	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)
		アジアの歴史と社会 歴史文化入門ゼミナール1 歴史文化入門ゼミナール2 歴史文化論 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4			アジアの歴史と社会 歴史文化入門ゼミナール1 歴史文化入門ゼミナール2 歴史文化論 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4
専	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化)	専	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化)
		スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会 国際事情入門ゼミナール1 国際事情入門ゼミナール2 国際関係論 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4			基礎ゼミナール2 国際文化論 スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会 国際事情入門ゼミナール1 国際事情入門ゼミナール2 国際関係論 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4
専	准教授	中祐 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※	専	准教授	中祐 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※
		ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会 多文化共生入門ゼミナール1 多文化共生入門ゼミナール2 歴史文化ゼミナール1 歴史文化ゼミナール2 社会学概論 ※ 多文化共生学 地域統合論 国際文化演習1 国際文化演習2			ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会 多文化共生入門ゼミナール1 多文化共生入門ゼミナール2 歴史文化ゼミナール1 歴史文化ゼミナール2 社会学概論 ※ 多文化共生学 地域統合論 国際文化演習1 国際文化演習2
専	准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究)	専	准教授	服部 (三浦) 志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究)
		基礎ゼミナール1 アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会 異文化理解入門ゼミナール1 異文化理解入門ゼミナール2 国際事情ゼミナール1 国際事情ゼミナール2 社会学概論 ※ 環境政治論 国際文化演習1 国際文化演習2			アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会 異文化理解入門ゼミナール1 異文化理解入門ゼミナール2 国際事情ゼミナール1 国際事情ゼミナール2 社会学概論 ※ 環境政治論 国際文化演習1 国際文化演習2
			専	講師	土井 冬樹 <令和6年4月> 博士(学術)
					基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2
兼任	教授	菅 せうおん <令和6年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	菅 せうおん <令和6年4月> 博士(社会学)
		カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論 社会調査法入門 社会調査法実録A 社会調査法実録B			カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論 社会調査法入門 社会調査法実録A 社会調査法実録B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学)
		異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication			異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication
兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア)	兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア)
		Japanese Religions			Japanese Religions
兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ)	兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ)
		多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会			多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会
兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※
		多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2			多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)	兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)
		多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道			多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)	兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)
		多文化理解と言語(スペイン語)			多文化理解と言語(スペイン語)
兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)	兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)
		多文化理解と言語(ポルトガル語)			多文化理解と言語(ポルトガル語)
兼任	教授	岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※			
		日本事情1 日本事情2			
兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※	兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※
		日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		多文化理解と言語(日本語)			多文化理解と言語(日本語)
兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米園)	兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米園)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米園)	兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米園)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1
兼任	教授	金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	石飛 和彦 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		社会調査法1
兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成 ボランティアネットワーク論
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1
兼任	教授	金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	石飛 和彦 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		社会調査法1
兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成 ボランティアネットワーク論
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士(教育学)
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	仲淳 <令和6年4月> 修士(教育学)※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援	兼任	教授	仲淳 <令和6年4月> 修士(教育学)※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米国)※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論	兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士(教育学) Master of Library Science (米国)※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	兼任	教授	塚本 順子 <令和6年4月> 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	教授	奥田 真紀子 <令和6年4月> 修士(学術)※ 保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学) 基礎からわかる生物・化学	兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士(医学) 基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米国) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会 異文化理解ゼミナール1 異文化理解ゼミナール2 質的調査研究 文化人類学概論 多文化共生論 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4	兼任	教授	井上 昭洋 <令和6年4月> Ph.D (Anthropology) (米国) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会 異文化理解ゼミナール1 異文化理解ゼミナール2 質的調査研究 文化人類学概論 多文化共生論 国際文化演習1 国際文化演習2 国際文化演習3 国際文化演習4
兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド) ジェンダー・セクシャリティ	兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士(インド) ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2	兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	小松崎 利明 <令和6年4月> 修士(行政学) MA (Conflict Resolution) (イギリス) MPhil (Peace Studies) (イギリス)※ 国際法	兼任	准教授	小松崎 利明 <令和6年4月> 修士(行政学) MA (Conflict Resolution) (イギリス) MPhil (Peace Studies) (イギリス)※ 国際法 国際政治学
兼任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学)※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論	兼任	准教授	山本 晃司 <令和6年4月> 修士(英語学)※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論
兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学) (スペイン) 日本文化概論	兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学) (スペイン) 日本文化概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)
		日本語教育入門 日本語語彙論	日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化)
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法	日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 <令和6年4月> Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama (アイルランド)	
		英語1 英語2 多文化理解と言語(英語) 世界の文学1 世界の文学2	
兼任	准教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B	英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B
兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2	天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2
兼任	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士(文学)	
		基礎からわかる近代史	
兼任	准教授	箱田 徹 <令和6年4月> 博士(学術)	
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2	
兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)	小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2	ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)	川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割	国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	准教授	小畑 治	兼任	准教授	小畑 治
		<令和6年4月> 修士(教育学)			<令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	Wood Jeremy George	兼任	講師	Wood Jeremy George
		<令和6年4月> 博士(文化交渉学)			<令和6年4月> 博士(文化交渉学)
		Business Communication			Business Communication
兼任	講師	深谷 耕治	兼任	講師	深谷 耕治
		<令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)			<令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真	兼任	准教授	澤井 真
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思			
		<令和6年4月> 博士(教育学)			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平	兼任	講師	小関 康平
		<令和6年4月> 博士(法学)			<令和6年4月> 博士(法学)
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 憲法からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也			
		<令和6年4月> 修士(体育学)※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大	兼任	助教	金子 竜大
		<令和6年4月> 修士(体育学)			<令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	教授	齋木 勉	兼任	教授	齋木 勉
		<令和6年4月> 文学博士(大韓民国)			<令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)※			多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)※
兼任	教授	王 向華	兼任	教授	王 向華
		<令和6年4月> 博士(社会人観学)			<令和6年4月> 博士(社会人観学)
		日本事情1 日本事情2			日本事情1 日本事情2
兼任	教授	森元 伸枝	兼任	教授	森元 伸枝
		<令和6年4月> 修士(経営学)※			<令和6年4月> 修士(経営学)※
		天理大学特別講義7 天理大学特別講義8			天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
兼任	教授	石井 孝弘	兼任	教授	石井 孝弘
		<令和6年4月> 修士(学術)			<令和6年4月> 修士(学術)
		天理大学特別講義9			天理大学特別講義9

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	白石 晃 <令和6年4月> 修士(教育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 <令和6年4月> 博士(医学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 直理 <令和6年4月> 博士(医学)
					保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	今井 淳雄 <令和6年4月> 博士(国際学)
					国際政治学
			兼任	准教授	高地 朋成 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
					多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)
			兼任	准教授	山本 佳世子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
					キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	松山 尚蓮 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	助教	西田 昂平 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	蔡 珮菁 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	蔡 珮菁 <令和6年4月> 博士(文学)
		多文化理解と言語(中国語)			多文化理解と言語(中国語)
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア)	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア)
		多文化理解と言語(ロシア語)			多文化理解と言語(ロシア語)
兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学)	兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学)
		観光地理学 観光業界論 ホスピタリティー観光研究1 ホスピタリティー観光研究2 国内旅行業務 海外旅行業務			天理大学特別講義6 天理大学特別講義6 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティー観光研究1 ホスピタリティー観光研究2 国内旅行業務 海外旅行業務
兼任	講師	安藤 純子 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	安藤 純子 <令和6年4月> 修士(文学)※
		社会調査法2			社会調査法2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中澤 静男 <令和8年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	中澤 静男 <令和8年4月> 修士(教育学)
		社会・公民科指導法1 社会・公民科指導法2			社会・公民科指導法1 社会・公民科指導法2
兼任	講師	芳賀 達彦 <令和7年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	芳賀 達彦 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		経済学概論			社会学 経済学概論
兼任	講師	初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)	兼任	講師	初谷 謙次 <令和9年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論 国際事情論			グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論 国際事情論
兼任	講師	松本 充豊 <令和7年4月> 博士(政治学)			
		国際政治学			
兼任	講師	森 敦子 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	森 敦子 <令和6年4月> 修士(教育学)
		やさしい日本語			やさしい日本語
兼任	講師	鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国)	兼任	講師	鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国)
		韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2			韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2
兼任	講師	吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)			多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
兼任	講師	乾 拓也 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	乾 拓也 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語1 英語2 社会言語学1 社会言語学2			英語1 英語2 社会言語学1 社会言語学2
兼任	講師	鈴島 梓 <令和6年4月> 博士(英文学)	兼任	講師	鈴島 梓 <令和6年4月> 博士(英文学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米園)	兼任	講師	日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米園)
		英語1 英語2 TOEFL Academic English			英語1 英語2 TOEFL Academic English
兼任	講師	Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Culture and Society			Japanese Culture and Society
兼任	講師	山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学)※
		多文化理解と言語(ドイツ語)			多文化理解と言語(ドイツ語)
兼任	講師	石田 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)※	兼任	講師	石田 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)※
		英語1 英語2			英語1 英語2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	荻野 綾 <令和6年4月> 修士(外国語教育学)	兼任	講師	荻野 綾 <令和6年4月> 修士(外国語教育学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)	兼任	講師	家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)
		教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2			教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2
兼任	講師	小林 和代 <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	小林 和代 <令和6年4月> 文学修士
		中国語1 中国語2			中国語1 中国語2
兼任	講師	後藤 朗子 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	後藤 朗子 <令和6年4月> 修士(文学)※
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	内藤 貴夫 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	内藤 貴夫 <令和6年4月> 修士(文学)※
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	野田 智子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	野田 智子 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	疋田 隆康 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	疋田 隆康 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山川 仁 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)	兼任	講師	山川 仁 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山口 徳一 <令和6年4月> 修士(英文学)※	兼任	講師	山口 徳一 <令和6年4月> 修士(英文学)※
		英語1 英語2			英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治 <令和6年4月> 博士(英語学)	兼任	講師	山村 誠治 <令和6年4月> 博士(英語学)
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	井上 成人 <令和6年4月> 文学士	兼任	講師	井上 成人 <令和6年4月> 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	伊橋 幸江 <令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 <令和7年4月> 教育学士	兼任	講師	上原 道延 <令和7年4月> 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	梅田 正之	兼任	講師	梅田 正之
		<令和7年4月> 文学士			<令和7年4月> 文学士
		担当授業科目名			担当授業科目名
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人	兼任	講師	加藤 匡人
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎	兼任	講師	澤井 一郎
		<令和6年4月> 修士(文学)※			<令和6年4月> 修士(文学)※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教	兼任	講師	松山 常教
		<令和6年4月> 学士(宗教学)			<令和6年4月> 学士(宗教学)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直	兼任	講師	安井 幹直
		<令和6年4月> M.A(文学修士)(米国)			<令和6年4月> M.A(文学修士)(米国)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵	兼任	講師	荒田 恵
		<令和9年4月> 修士(文学)			<令和9年4月> 修士(文学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二	兼任	講師	乾 誠二
		<令和9年4月> 文学士			<令和9年4月> 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純	兼任	講師	齊藤 純
		<令和9年4月> 文学修士※			<令和9年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁	兼任	講師	中尾 徳仁
		<令和9年4月> 学士(教育学)			<令和9年4月> 学士(教育学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平	兼任	講師	今治 周平
		<令和6年4月> 法務博士			<令和6年4月> 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明	兼任	講師	角 克明
		<令和6年4月> 教育学修士※			<令和6年4月> 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康	兼任	講師	加藤 康
		<令和6年4月> 修士(商学)※			<令和6年4月> 修士(商学)※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子			
		<令和6年4月> 博士(理学)			
		科学と現代			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※	兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)	兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)	兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)
		日本語A 日本語B			日本語A 日本語B
兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 <令和6年4月> 博士(農学)			
		地球環境論			

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		担当授業科目名 コンピュータ入門			担当授業科目名 コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士
		教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)			教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)
兼任	講師	富田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)	兼任	講師	富田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士
		矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)			矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)
兼任	講師	高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)	兼任	講師	北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論

専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山本 道次 <令和7年4月> 体育学士	兼任	講師	山本 道次 <令和7年4月> 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニュースポーツ
			兼任	講師	北岡 一弘 <令和6年4月> 修士(学術) 修士(英文学) 修士(英語教育学)
					英語1 英語2 多文化理解と言語(英語)
			兼任	講師	村田 薫子 <令和6年4月> 修士(政治学)
					英語1 英語2
			兼任	講師	片山 雅男 <令和6年4月> 理学修士
					地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 <令和6年4月> 博士(文学)
					キャリアプランニング
			兼任	講師	箱田 敬 <令和6年4月> 博士(学術)
					哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 <令和6年4月> 学士(理学)
					科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 <令和7年4月> 博士(教育学)
					教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習論議 介護福祉論 健康実践論(中・高) 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	山本 樹 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	3
6	
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	2	0	0	6	0	6	1	1	0	8	0
(5)	(2)	(0)	(0)	(7)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	1	1	0	7	0	5	1	1	0	7	0
[1]	[Δ1]	[1]	[0]	[1]	[0]	[1]	[Δ1]	[1]	[0]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{6} = \boxed{116.66} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。(国際学部国際文化学科)	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>学校法人天理大学就業規則において大学教員の定年は60歳となっているが、同規則及び天理大学教員再雇用規程に則り、本人の希望により60歳を超えても65歳まで引き続き雇用される【資料①】。同規則及び同規程の適用を受けた教員は、定年前と同様に当該教授会の構成員となる。また、学部長、学科主任、各種委員会の委員を務めるなど定年前の教員と何ら変わらない。</p> <p>さらに同規程では、65歳を超えて教学上特に必要と認める教員を特別嘱託教授として、年度末の年齢満68歳を限度として雇用すると定めている。</p> <p>国際学部国際文化学科では、専任教員の高齢化を改善するため、令和6年度より教員1名を講師として新たに採用した。</p> <p>専任教員の高齢化は今後の教員組織においてふさわしい状況とは言い難いが、引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、教育研究の継続性と年齢構成を考慮して、後任人事を補充していく。</p>	履行済
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した人文学部宗教学科を設置した。</p> <p>ただし、改編初年度となる令和6年度の人文学部宗教学科の入学者数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。</p>	履行済
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。</p> <p>外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。</p> <p>ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学者数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。</p>	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料②】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部国際文化学科は、既設の国際学部地域文化学科を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「国の内外における多文化共生社会を実現するために、現代社会の仕組みを学際的に理解し、自ら行動し指導・協働することができる人材、公共に資する市民としての「公民」を育成することを目的とする。そのため、ひと・もの・価値（観）が国境を越えて行き来することで生み出される国の内外の文化の多様性について学び、その多様性が織りなす共生社会に自らが参加して行動することのできる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。

授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

次回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 975

注4

学校コード F129310109266

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

天理大学

国際学部

日本学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜日本学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人天理大学

(2) 大学名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学部長	(ナガモリ ミツノブ) 長森 美信 (令和6年4月)		
学科長等	(セリザワ サトヒロ) 芹澤 知広 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに入力してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 日本学科 学士(日本学)	文学関係	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []				令和6年度編入学生2、3年次											
志願者数	() []	-	0.52 倍	-												
受験者数	() []	-	0.52 倍	-												
合格者数	() []	-	0.52 倍	-												
B 入学者数	() []	-	0.52 倍	-												
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	- [-] (-)	16 [16] (-)	- [-] (-)	編入学生 令和6年度 2年次 2人 令和6年度 3年次 3人									
2 年次	/		- [-] (-)	2 [2] (-)	- [-] (-)								
3 年次			/		/		- [-] (-)						
4 年次	/						/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計			- [-] (-)					- [-] (-)	- [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	21 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 日本学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2			1				
	日本事情1	1-2-3-4前		2			1				
	日本事情2	1-2-3-4後		2			1				
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼8
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼6
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(43科目)	—		6	69	0	2	0	0	0	0	兼41
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3前		2							兼3
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1
	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	天理教概説1	1-2-3-4前	2								兼10
	天理教概説2	1-2-3-4後	2								兼10
	天理教学1	2-3-4前		2							兼3
	天理教学2	2-3-4後		2							兼3
	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
	韓国・朝鮮語1	1-2-3-4前		1							兼1
	韓国・朝鮮語2	1-2-3-4後		1							兼1
	中国語1	1-2-3-4前		1							兼1
	中国語2	1-2-3-4後		1							兼1
	教養アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	教養アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼1
	実践アカデミック英語1	1-2-3-4前		1							兼1
	実践アカデミック英語2	1-2-3-4後		1							兼2
	アカデミック英語上級	1-2-3-4後		1							兼1
	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4前		2							兼2
	多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4前		2							兼1
	多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4前		2			1				
	日本事情1	1-2-3-4前		2			1				
	日本事情2	1-2-3-4後		2			1				
	健康スポーツ科学1	1-2-3-4前		2							兼11
	健康スポーツ科学2	1-2-3-4後		2							兼8
	国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4前		2							兼2
	保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4後		2							兼1
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4前		1							兼3
	ローカリアウト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4後		1							兼3
	国際協力入門	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力実習	1-2-3-4後		2							兼1
	国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4前		2							兼1
	国際協力演習2	1-2-3-4後		2							兼1
	国際ボランティア論	2-3-4後		2							兼1
	天理大学特別講義1	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義2	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義3	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義4	1-2-3-4前		2							兼1
	天理大学特別講義5	1-2-3-4前		2							兼1
天理大学特別講義6	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義7	1-2-3-4前		2							兼1	
天理大学特別講義8	1-2-3-4前		2							兼1	
天理異文化伝道	2-3-4前		2							兼1	
小計(47科目)	—		6	77	0	2	0	0	0	0	兼48
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3前		2							兼5
	キャリアデザイン1	2-3-4前		2							兼1
	キャリアデザイン2	2-3-4後		2							兼1
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1
	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
	海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎リテラシー科目群	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
	基礎ゼミナール1	1前	2			1					
	基礎ゼミナール2	1後	2			1					
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前後	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後	2								兼2
	情報処理	2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後	2								兼4
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後	2								兼1
基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後	2								兼1	
小計(12科目)	—	2	22	0	1	0	0	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後	2								兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後	2								兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後	2								兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後	2								兼1
	統計学1	1-2-3-4前	2								兼1
	統計学2	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学2	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前	2								兼2
	法学	1-2-3-4前	2								兼2
	経済学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経済学2	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学	1-2-3-4前	2								兼1
	民法1	1-2-3-4前	2								兼1
	民法2	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法1	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法2	1-2-3-4前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	心理学1	1-2-3-4前	2								兼2
	心理学2	1-2-3-4前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3-4前	2								兼1
	障害学	1-2-3-4前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前	2								兼1
世界の文学2	1-2-3-4前	2								兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3-4前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3-4前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	
ニューススポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎リテラシー科目群	海外インターンシップ2	2-3-4通	2								兼1
	小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
	基礎ゼミナール1	1前	2							1	
	基礎ゼミナール2	1後	2							1	
	データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
	データサイエンス・AI応用	2-3-4前後	2								兼1
	データリテラシー	2-3-4前後	2								兼1
	コンピュータ入門	1-2-3-4前後	2								兼2
	情報処理	2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後	2								兼5
	基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後	2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後	2								兼1
基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後	2								兼1	
小計(12科目)	—	2	22	0	0	0	1	0	0	兼11	
総合教育科目	生活の中の科学	1-2-3-4前後	2								兼1
	地球環境論	1-2-3-4前後	2								兼1
	科学と現代	1-2-3-4前後	2								兼1
	数学と論理	1-2-3-4前後	2								兼1
	統計学1	1-2-3-4前	2								兼1
	統計学2	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経営学2	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	地理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前	2								兼2
	法学	1-2-3-4前	2								兼2
	経済学1	1-2-3-4前	2								兼1
	経済学2	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学	1-2-3-4前	2								兼1
	民法1	1-2-3-4前	2								兼1
	民法2	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法1	1-2-3-4前	2								兼1
	行政法2	1-2-3-4前	2								兼1
	哲学概論1	1-2-3-4前	2								兼2
	哲学概論2	1-2-3-4前	2								兼2
	倫理学1	1-2-3-4前	2								兼1
	倫理学2	1-2-3-4前	2								兼1
	心理学1	1-2-3-4前	2								兼2
	心理学2	1-2-3-4前	2								兼2
	ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前	2								兼1
	近現代の遺産と未来	1-2-3-4前	2								兼1
	宗教と芸能	1-2-3-4前	2								兼1
	労働と社会	1-2-3-4前	2								兼1
	障害学	1-2-3-4前	2								兼2
	世界の文学1	1-2-3-4前	2								兼1
世界の文学2	1-2-3-4前	2								兼1	
カルチュラルスタディーズ	1-2-3-4前	2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前	2								兼1	
人権と差別1	1-2-3-4前	2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4前	2								兼3	
日本手話A	1-2-3-4前	2								兼1	
日本手話B	1-2-3-4前	2								兼1	
アウトドアスポーツ	1-2-3-4前	1								兼1	
レクリエーションスポーツ	2-3-4前	1								兼2	
ニューススポーツ	2-3-4前	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼32
	合計(104科目)	—	8	184	0	2	0	0	0	0	0	兼72
国際学部共通科目	日本文化概論	1・2・3・4前		2								兼1
	国際文化論	1・2・3・4前		2								兼1
	日本と国際社会	1・2・3・4前		2								兼1
	グローバル文化論	2・3・4前		2								兼1
	アジア地域文化論	2・3・4後		2								兼1
	オセアニア地域文化論	2・3・4前		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2・3・4前		2								兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2・3・4後		2								兼1
	アフリカ地域文化論	2・3・4前		2								兼1
	アメリカス地域文化論	2・3・4後		2								兼1
	世界の歴史と社会	3・4前		2								兼1
	アジアの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	オセアニアの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3・4前		2								兼1
	アフリカの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	アメリカスの歴史と社会	3・4前		2								兼1
	世界の英語	1・2・3・4後		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1・2・3・4前		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1・2・3・4後		2								兼1
	英語音声学1	2・3・4前		2								兼1
	英語音声学2	2・3・4後		2								兼1
	英語学概論	2・3・4後		2								兼1
	社会言語学1	2・3・4前		2								兼1
	社会言語学2	2・3・4後		2								兼1
	言語学概論1	3・4前		2								兼1
	言語学概論2	3・4後		2								兼1
	College English Grammar A	1・2・3・4前		1								兼1
	College English Grammar B	1・2・3・4後		1								兼1
	Business Communication	1・2・3・4前		1								兼1
	TOEFL Academic English	1・2・3・4後		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1・2・3・4前		2								兼1
Japanese History	1・2・3・4後		2								兼1	
Japanese Religions	1・2・3・4前		2								兼1	
観光地理学	2・3・4前		2								兼1	
観光デザイン論	2・3・4後		2								兼1	
観光業界論	2・3・4前		2								兼1	
世界遺産論	2・3・4後		2								兼1	
ホスピタリティー観光研究1	2・3・4前		2								兼1	
ホスピタリティー観光研究2	2・3・4後		2								兼1	
国内旅行実務	2・3・4前		2								兼1	
海外旅行実務	2・3・4後		2								兼1	
国際スポーツ協力論	2・3・4前		1								兼2	
国際スポーツ交流実習	2・3・4後		1								兼2	
小計(44科目)	—	0	82	0	0	0	0	0	0	0	兼22	
日本学科専攻科目	日本研究入門	1前	2			1						兼1
	ナラロジー研究入門	1前	2									兼1
	文化人類学入門	1・2前	2		1							
	日本文化入門	1・2前	2		1							
	言語学入門	1・2前	2		1							
	フィールドワークの方法	1・2前	2		1							
	世界史のなかの日本	1・2後	2									兼1
	日本表現文化概論	2・3・4前	2		1							
	交通地理学概論	2・3・4後	2		1							
	日本多文化共生概論	2・3・4前	2		1							
	日本精神文化概論	2・3・4後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼34
	合計(108科目)	—	8	192	0	2	0	1	0	0	0	兼83
国際学部共通科目	日本文化概論	1・2・3・4前		2								兼1
	国際文化論	1・2・3・4前		2								兼1
	日本と国際社会	1・2・3・4前		2								兼1
	グローバル文化論	2・3・4前		2								兼1
	アジア地域文化論	2・3・4後		2								兼1
	オセアニア地域文化論	2・3・4前		2								兼1
	ヨーロッパ地域文化論	2・3・4前		2								兼1
	スラヴ・ユーラシア地域文化論	2・3・4後		2								兼1
	アフリカ地域文化論	2・3・4前		2								兼1
	アメリカス地域文化論	2・3・4後		2								兼1
	世界の歴史と社会	3・4前		2								兼1
	アジアの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	オセアニアの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	ヨーロッパの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	スラヴ・ユーラシアの歴史と社会	3・4前		2								兼1
	アフリカの歴史と社会	3・4後		2								兼1
	アメリカスの歴史と社会	3・4前		2								兼1
	世界の英語	1・2・3・4後		2								兼1
	異文化コミュニケーション1	1・2・3・4前		2								兼1
	異文化コミュニケーション2	1・2・3・4後		2								兼1
	英語音声学1	2・3・4前		2								兼1
	英語音声学2	2・3・4後		2								兼1
	英語学概論	2・3・4後		2								兼1
	社会言語学1	2・3・4前		2								兼1
	社会言語学2	2・3・4後		2								兼1
	言語学概論1	3・4前		2								兼1
	言語学概論2	3・4後		2								兼1
	College English Grammar A	1・2・3・4前		1								兼1
	College English Grammar B	1・2・3・4後		1								兼1
	Business Communication	1・2・3・4前		1								兼1
	TOEFL Academic English	1・2・3・4後		1								兼1
	Japanese Culture and Society	1・2・3・4前		2								兼1
Japanese History	1・2・3・4後		2								兼1	
Japanese Religions	1・2・3・4前		2								兼1	
観光地理学	2・3・4前		2								兼1	
観光デザイン論	2・3・4後		2								兼1	
観光業界論	2・3・4前		2								兼1	
世界遺産論	2・3・4後		2								兼1	
ホスピタリティー観光研究1	2・3・4前		2								兼1	
ホスピタリティー観光研究2	2・3・4後		2								兼1	
国内旅行実務	2・3・4前		2								兼1	
海外旅行実務	2・3・4後		2								兼1	
国際スポーツ協力論	2・3・4前		1								兼2	
国際スポーツ交流実習	2・3・4後		1								兼2	
小計(44科目)	—	0	82	0	0	0	0	0	0	0	兼22	
日本学科専攻科目	日本研究入門	1前	2			1						兼1
	ナラロジー研究入門	1後	2									兼1
	文化人類学入門	1・2後	2		1							
	日本文化入門	1・2前	2		1							
	言語学入門	1・2後	2		1							
	フィールドワークの方法	1・2後	2		1				1			
	世界史のなかの日本	1・2前	2						1			
	日本表現文化概論	2・3・4前	2		1							
	交通地理学概論	2・3・4後	2		1					1		
	日本多文化共生概論	2・3・4前	2		1							
	日本精神文化概論	2・3・4後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本学 科専攻科目	ナラロジー概論	2-3-4前	2								兼1
	日本生活文化概論	2-3-4前	2			1					
	社会言語学概論	2-3-4前	2			1					
	日本表現文化特論	3-4後	2			1					
	経営人類学特論	3-4後	2								兼1
	日本情報文化特論	3-4後	2			1					
	日本環境文化特論	3-4後	2								兼1
	観光地理学特論	3-4前	2			1					
	ナラロジー特論	3-4後	2			1					
	日本生活文化特論	3-4後	2			1					
	入門日本語A(会話)	1前	1								兼1
	入門日本語A(講読)	1前	1								兼1
	入門日本語A(文法A)	1前	1								兼1
	入門日本語A(文法B)	1前	1								兼1
	入門日本語A(作文)	1前	1								兼1
	入門日本語A(表記)	1前	1								兼1
	入門日本語A(総合)	1前	1								兼1
	入門日本語B(会話)	1後	1								兼1
	入門日本語B(講読)	1後	1								兼1
	入門日本語B(文法A)	1後	1				1				
	入門日本語B(文法B)	1後	1				1				
	入門日本語B(作文)	1後	1								兼1
	入門日本語B(表記)	1後	1								兼1
	入門日本語B(総合)	1後	1								兼1
	基礎日本語A(会話)	1-2前後	1								兼2
	基礎日本語A(講読)	1-2前後	1								兼2
	基礎日本語A(文法A)	1-2前後	1				1				兼1
	基礎日本語A(文法B)	1-2前後	1				1				兼1
	基礎日本語A(作文)	1-2前後	1				1				兼2
	基礎日本語A(表記)	1-2前後	1								兼3
	基礎日本語A(総合)	1-2前後	1								兼2
	基礎日本語B(会話)	1-2前後	1								兼2
	基礎日本語B(講読)	1-2前後	1								兼3
	基礎日本語B(文法A)	1-2前後	1				1				兼2
	基礎日本語B(文法B)	1-2前後	1				1				兼2
	基礎日本語B(作文)	1-2前後	1								兼2
基礎日本語B(表記)	1-2前後	1								兼2	
基礎日本語B(総合)	1-2前後	1								兼2	
ビジネス日本語1	2-3前	2								兼1	
ビジネス日本語2	2-3後	2								兼1	
日本語実践研究1	2-3前	2				1					
日本語実践研究2	2-3後	2				1					
日本研究演習1	3前	2				3	1				
日本研究演習2	3後	2				3	1				
日本研究演習3	4前	2				3				兼1	
日本研究演習4	4後	2				3				兼1	
日本文化体験実習1	2-3-4通	2								兼1	
日本文化体験実習2	2-3-4通	2				1					
卒業課題研究	4通	2				1					
卒業論文	4通	4				1					
小計(61科目)	—	36	60	0	4	1	0	0	0	兼9	
資格科目	伝道実習1	1-2-3-4林			1						兼1
	伝道実習2	1-2-3-4林			1						兼1
	伝道実習3	2-3-4前			1						兼1
	伝道実習4	2-3-4後			1						兼1
	小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
人文科学部	日本語学入門	1前			2	1					
	日本語教育入門	1後			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本学 科専攻科目	ナラロジー概論	2-3-4前	2									兼1
	日本生活文化概論	2-3-4前	2			1						
	社会言語学概論	2-3-4前	2			1						
	日本表現文化特論	3-4後	2			1						
	経営人類学特論	3-4前	2									兼1
	日本情報文化特論	3-4後	2			1						
	日本環境文化特論	3-4後	2									兼1
	観光地理学特論	3-4前	2							1		
	ナラロジー特論	3-4前	2			1						
	日本生活文化特論	3-4後	2			1						
	入門日本語A(会話)	1前	1									兼1
	入門日本語A(講読)	1前	1									兼1
	入門日本語A(文法A)	1前	1									兼1
	入門日本語A(文法B)	1前	1									兼1
	入門日本語A(作文)	1前	1									兼1
	入門日本語A(表記)	1前	1									兼1
	入門日本語A(総合)	1前	1									兼1
	入門日本語B(会話)	1後	1									兼1
	入門日本語B(講読)	1後	1									兼1
	入門日本語B(文法A)	1後	1				1					
	入門日本語B(文法B)	1後	1				1					
	入門日本語B(作文)	1後	1									兼1
	入門日本語B(表記)	1後	1									兼1
	入門日本語B(総合)	1後	1									兼1
	基礎日本語A(会話)	1-2前後	1									兼2
	基礎日本語A(講読)	1-2前後	1									兼2
	基礎日本語A(文法A)	1-2前後	1				1		1			
	基礎日本語A(文法B)	1-2前後	1				1		1			
	基礎日本語A(作文)	1-2前後	1				1			1		兼1
	基礎日本語A(表記)	1-2前後	1						1			兼2
	基礎日本語A(総合)	1-2前後	1									兼2
	基礎日本語B(会話)	1-2前後	1									兼2
	基礎日本語B(講読)	1-2前後	1									兼2
	基礎日本語B(文法A)	1-2前後	1				1					兼1
	基礎日本語B(文法B)	1-2前後	1				1					兼1
	基礎日本語B(作文)	1-2前後	1							1		兼1
基礎日本語B(表記)	1-2前後	1									兼2	
基礎日本語B(総合)	1-2前後	1									兼2	
ビジネス日本語1	2-3前	2									兼1	
ビジネス日本語2	2-3後	2									兼1	
日本語実践研究1	2-3前	2				1						
日本語実践研究2	2-3後	2				1						
日本研究演習1	3前	2				3	1					
日本研究演習2	3後	2				3	1					
日本研究演習3	4前	2				3					兼1	
日本研究演習4	4後	2				3					兼1	
日本文化体験実習1	2-3-4通	2									兼1	
日本文化体験実習2	2-3-4通	2				1						
卒業課題研究	4通	2				1						
卒業論文	4通	4				1						
小計(61科目)	—	36	60	0	4	1	1	0	0	0	兼7	
資格科目	伝道実習1	1-2-3-4林			1							兼1
	伝道実習2	1-2-3-4林			1							兼1
	伝道実習3	2-3-4前			1							兼1
	伝道実習4	2-3-4後			1							兼1
	小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
人文科学部	日本語学入門	1前			2	1						
	日本語教育入門	1後			2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	日本語彙論	2前			2		1					
	日本語文法論1	2前			2	1						
	日本語文法論2	2後			2	1						
	日本語音声学	2後			2	1						
	言語の対照研究	3前			2	1						
	日本語教授法1	3前			2		1					
	日本語教授法2	3後			2		1					
	第二言語習得論	3前			2		1					
	日本語指導法	4前			2	1						
	日本語教育評価法	4後			2		1					
	日本語教育実習	4通			2	1						
	小計(13科目)	—	0	0	26	1	1	0	0	0		
	社会科学部門	図書館情報システム論	2-3-4後			2						
情報サービス論		3-4前			2							兼1
児童・YAサービス論		2-3-4前			2							兼1
情報サービス演習1		3-4後			2							兼1
情報サービス演習2		3-4後			2							兼1
図書館情報資源概論		2-3-4前			2							兼1
情報資源組織論		3-4前			2							兼1
情報資源組織演習1		3-4後			2							兼1
情報資源組織演習2		3-4後			2							兼1
図書館情報資源特論		3-4前			2							兼1
図書館情報学特論		4前			2							兼1
博物館実習1		3前			2							兼2
博物館実習2		4通			1							兼3
矯正概論		1-2-3-4前			2							兼1
更生保護概論		1-2-3-4前			2							兼1
矯正保護教育(施設參觀を含む)		3-4後			2							兼1
矯正保護支援実践論		2-3-4後			2							兼2
犯罪被害者支援論		2-3-4後			2							兼1
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0		兼13	
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2-3-4前			2							兼1
	教育史	2-3-4前			2							兼1
	教育課程論	3-4前			2							兼1
	学校教育心理学	2-3-4前			2							兼1
	学校教育社会学	2-3-4前			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3-4前			2							兼1
	教育相談の理論及び方法	3前後			2							兼2
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2-3-4前			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4前			2							兼1
	教育史特論	2-3-4後			2							兼1
	臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0		兼12
合計(57科目)	—	0	0	106	1	1	0	0	0		兼26	
合計(266科目)	—	44	326	106	4	1	0	0	0		兼118	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学部門	日本語彙論	2前			2					1		
	日本語文法論1	2前			2	1						
	日本語文法論2	2後			2	1						
	日本語音声学	2後			2	1						
	言語の対照研究	3前			2	1						
	日本語教授法1	3前			2		1					
	日本語教授法2	3後			2		1					
	第二言語習得論	3前			2		1					
	日本語指導法	4前			2	1						
	日本語教育評価法	4後			2		1					
	日本語教育実習	4通			2	1						
	小計(13科目)	—	0	0	26	1	1	0	0	0		
	社会科学部門	図書館情報システム論	2-3-4後			2						
情報サービス論		3-4前			2							兼1
児童・YAサービス論		2-3-4前			2							兼1
情報サービス演習1		3-4後			2							兼1
情報サービス演習2		3-4後			2							兼1
図書館情報資源概論		2-3-4前			2							兼1
情報資源組織論		3-4前			2							兼1
情報資源組織演習1		3-4後			2							兼1
情報資源組織演習2		3-4後			2							兼1
図書館情報資源特論		3-4前			2							兼1
図書館情報学特論		4前			2							兼1
博物館実習1		3前			2							兼2
博物館実習2		4通			1							兼3
矯正概論(未開講)		1-2-3-4前			2							兼1
更生保護概論		1-2-3-4前			2							兼1
矯正保護教育(施設參觀を含む)		3-4後			2							兼1
矯正保護支援実践論		2-3-4後			2							兼2
犯罪被害者支援論		2-3-4後			2							兼1
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0		兼13	
資格科目	教職論	1前後			2							兼1
	教育原理	2-3-4前			2							兼1
	教育史	2-3-4前			2							兼1
	教育課程論	3-4前			2							兼1
	学校教育心理学	2-3-4前			2							兼1
	学校教育社会学	2-3-4前			2							兼1
	道徳の理論及び指導法	3-4前			2							兼1
	教育相談の理論及び方法	3前後			2							兼2
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2-3-4前			2							兼2
	教育実習講義	3後			1							兼3
	介護等体験	3通			1							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
	教育実習1	4通			2							兼1
	教育実習2	4通			2							兼1
	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4前			2							兼1
	教育史特論	2-3-4後			2							兼1
	臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0		兼12
合計(57科目)	—	0	0	106	1	1	0	0	0		兼26	
合計(270科目)	—	44	334	106	4	1	1	0	0		兼128	

卒業要件及び履修方法

総合教育科目：天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群10単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計28単位以上
 国際学部共通科目 2単位以上
 日本学科専攻科目：必修科目36単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め20単位以上 計56単位以上
 国際学部共通科目、日本学科専攻科目 計70単位以上
 総合教育科目、国際学部共通科目、日本学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。
 履修科目の登録上限：48単位（年間）

卒業要件及び履修方法

総合教育科目：天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群10単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計28単位以上
 国際学部共通科目 2単位以上
 日本学科専攻科目：必修科目36単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め20単位以上 計56単位以上
 国際学部共通科目、日本学科専攻科目 計70単位以上
 総合教育科目、国際学部共通科目、日本学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。
 履修科目の登録上限：48単位（年間）

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎ゼミナール1」 担当者の変更により、「教授1」から「講師1」に変更
- ・「基礎ゼミナール2」 担当者の変更により、「教授1」から「講師1」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「ナラロジー研究入門」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「文化人類学入門」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「言語学入門」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「フィールドワークの方法」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更。担当者の変更により、「教授1」から「講師1」に変更
- ・「世界史のなかの日本」 開講期間の見直しにより、「後期」から「前期」に変更。担当者の変更により、「兼1」から「教授1」に変更
- ・「交通地理学概論」 担当者の変更により、「教授1」から「講師1」に変更
- ・「日本多文化共生概論」 開講期間の見直しにより、「後期」から「前期」に変更
- ・「経営人類学特論」 開講期間の見直しにより、「後期」から「前期」に変更。担当者の変更により、「兼1」から「教授1」に変更
- ・「観光地理学特論」 担当者の変更により、「教授1」から「講師1」に変更
- ・「ナラロジー特論」 開講期間の見直しにより、「後期」から「前期」に変更
- ・「基礎日本語A（文法A）」 担当者の変更により、「教授1」「兼1」から「教授1」「准教授1」に変更
- ・「基礎日本語A（文法B）」 担当者の変更により、「教授1」「兼1」から「教授1」「准教授1」に変更
- ・「基礎日本語A（作文）」 担当者の変更により、「教授1」「兼2」から「講師1」「兼1」に変更
- ・「基礎日本語A（表記）」 担当者の変更により、「兼3」から「准教授1」「兼2」に変更
- ・「基礎日本語B（講読）」 担当者の変更により、「兼3」から「兼2」に変更
- ・「基礎日本語B（文法A）」 担当者の変更により、「教授1」「兼2」から「教授1」「兼1」に変更
- ・「基礎日本語B（文法B）」 担当者の変更により、「教授1」「兼2」から「教授1」「兼1」に変更
- ・「基礎日本語B（作文）」 担当者の変更により、「兼2」から「講師1」「兼1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	180 科目	57 科目	266 科目	29 科目 [-]	184 科目 [4]	57 科目 [-]	270 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{266} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡			
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡			
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡			
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡			
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため(6)		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)		
		81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (81,584.21㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	60 室	44 室	22 室	11 室 (補助職員 0人)	5 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際学部 日本学科			8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際学部 日本学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌/申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		面積/錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数/申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)		
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡	410 349		191,000 154,000				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				面積が錯誤により増加したため(6)		
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡	武道館(柔剣道場)		弓道場				
		空手道場		トレーニングルーム				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	390千円	390千円	図書購入費	1,707千円	2,255千円 1,707千円	2,255千円 1,707千円	
	共同研究費等	1,235千円 1,055千円	1,235千円 1,055千円	設備購入費	667千円	642千円 667千円	642千円 667千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,080千円	第2年次 1,030千円	第3年次 1,030千円	第4年次 1,030千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	天理大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—	
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市袖之内町1050番地	
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上	
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上	
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上	
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上	
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上	
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—	
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上	
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上	
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上	
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上	
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上	
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—	
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—	
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—	
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市袖之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 日本学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※ 日本事情1 日本事情2 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 日本研究演習1 日本研究演習2 日本文化体験実習1	専	教授	岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※ 日本文化体験実習1
専	教授	住原 則也 <令和6年4月> Ph.D.(米國) ナラロジー研究入門 世界史のなかの日本 基礎日本語A(作文)	専	教授	住原 則也 <令和6年4月> Ph.D.(米國) ナラロジー研究入門
専	教授	芹澤 知広 <令和6年4月> 博士(人間科学) 文化人類学入門 日本文化入門 フィールドワークの方法 交通地理学概論 日本精神文化概論 日本生活文化概論 日本情報文化特論 観光地理学特論 ナラロジー特論 日本生活文化特論 基礎日本語A(作文) 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習2 卒業課題研究 卒業論文	専	教授	芹澤 知広 <令和6年4月> 博士(人間科学) 日本文化入門 世界史のなかの日本 日本多文化共生概論 日本精神文化概論 ナラロジー特論 日本生活文化特論 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習2 卒業課題研究 卒業論文
専	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※ 基礎日本語A(文法A) 基礎日本語A(文法B) 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習2 日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習	専	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士(言語学)※ 基礎日本語A(文法A) 基礎日本語A(文法B) 基礎日本語B(文法A) 基礎日本語B(文法B) 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習2 日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
専	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学) 多文化理解と言語(日本語) 言語学入門 日本表現文化概論 日本多文化共生概論 社会言語学概論 日本表現文化特論 基礎日本語B(文法A) 基礎日本語B(文法B) 日本語実践研究1 日本語実践研究2 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習1	専	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士(言語文化学) 多文化理解と言語(日本語) 言語学入門 日本表現文化概論 社会言語学概論 日本表現文化特論 日本語実践研究1 日本語実践研究2 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習1
専	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化) 日本研究入門 入門日本語B(文法A) 入門日本語B(文法B) 日本研究演習1 日本研究演習2 日本文化体験実習2 日本語教育入門 日本語集論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法	専	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士(日本語・日本文化) 日本研究入門 入門日本語B(文法A) 入門日本語B(文法B) 基礎日本語A(文法A) 基礎日本語A(文法B) 基礎日本語A(教習) 日本研究演習1 日本研究演習2 日本文化体験実習2 日本語教育入門 日本語集論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
専	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学) 日本研究入門 入門日本語B(文法A) 入門日本語B(文法B) 基礎日本語A(会話) 日本語教育入門 日本語集論	専	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学) 日本研究入門 入門日本語A(文法A) 入門日本語A(文法B) 入門日本語B(文法A) 入門日本語B(文法B) 基礎日本語A(総合) 基礎日本語B(総合) 日本語教育入門 日本語集論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名			担当授業科目名
			専	教授	王 向華 <令和6年4月> 博士(社会人文学) 日本事情1 日本事情2 文化人類学入門 日本生活文化概論 経営人類学特論 日本情報文化特論 日本研究演習1 日本研究演習2
			専	講師	長谷川 美穂 <令和6年4月> 博士(学術) 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークの方法 交通地理学概論 観光地理学特論 基礎日本語A(作文) 基礎日本語B(作文)
兼任	教授	菅 せうおん <令和6年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	菅 せうおん <令和6年4月> 博士(社会学)
		カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論			カルチュラルスタディーズ アジア地域文化論
兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	島田 拓司 <令和6年4月> 博士(心理学)
		異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication			異文化コミュニケーション1 異文化コミュニケーション2 Business Communication
兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア)	兼任	教授	森下 三郎 <令和6年4月> 博士(伝道学)(イタリア)
		Japanese Religions			Japanese Religions
兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ)	兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.(タイ)
		多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会			多文化理解と言語(タイ語) 日本と国際社会
兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※
		多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2			多文化理解と言語(インドネシア語) キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)	兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学(意味論)修士 (フランス)
		多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道			多文化理解と言語(フランス語) 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)	兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia (ベネズエラ)
		多文化理解と言語(スペイン語)			多文化理解と言語(スペイン語)
兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)	兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士(地域研究)
		多文化理解と言語(ポルトガル語)			多文化理解と言語(ポルトガル語)
兼任	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)	兼任	教授	初谷 謙次 <令和6年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論			グローバル文化論 アメリカス地域文化論 アメリカスの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	藤田 明良 <令和6年4月> 文学修士※
		国際文化論 世界の歴史と社会 世界遺産論			世界の歴史と社会 世界遺産論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	谷井 陽子 <令和6年4月> 博士(文学)
		アジアの歴史と社会		アジアの歴史と社会
兼任	教授	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)	兼任	五十嵐 徳子 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会		国際文化論 スラヴ・ユーラシア地域文化論 スラヴ・ユーラシアの歴史と社会
兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米國)	兼任	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米國)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米國)	兼任	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米國)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ Japanese History
兼任	教授	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1		博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸能		宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士	兼任	小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1		博物館実習1
兼任	教授	金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)	兼任	金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	関本 克良 <令和6年4月> 博士(学術)
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	曾山 典子 <令和6年4月> 博士(理学)
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） 天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）	兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） 天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※ ローカリアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※ ローカリアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援	兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※ 学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science （米園）※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論	兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science （米園）※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	塚本 順子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	兼任	教授	塚本 順子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
兼任	教授	奥田 真紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）※ 保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 基礎からわかる生物・化学	兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	井上 昭洋 ＜令和6年4月＞ Ph.D (Anthropology) (米園) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会	兼任	教授	井上 昭洋 ＜令和6年4月＞ Ph.D (Anthropology) (米園) オセアニア地域文化論 オセアニアの歴史と社会
兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド） ジェンダー・セクシャリティ	兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド） ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学） 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2	兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学） 哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	山本 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（英語学）※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論	兼任	准教授	山本 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（英語学）※ 世界の英語 英語音声学1 英語音声学2 英語学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	准教授	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン)	兼任	Juan Jose Lopez Pazos <令和6年4月> 博士(哲学)(スペイン)
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	准教授	日本文化概論	兼任	日本文化概論
		中村 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※		中村 勝美 <令和6年4月> 修士(文学)※
兼任	准教授	ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会	兼任	ヨーロッパ地域文化論 ヨーロッパの歴史と社会
		服部(三浦)志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究)		服部(三浦)志帆 <令和6年4月> 博士(地域研究)
兼任	准教授	アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会	兼任	アフリカ地域文化論 アフリカの歴史と社会
		中村 久美 <令和6年4月> Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama (アイルランド)		
兼任	准教授	多文化理解と言語(英語) 世界の文学1 世界の文学2	兼任	
		吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)		吉田 智佳 <令和6年4月> 博士(英語学)
兼任	准教授	実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B	兼任	実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 言語学概論1 言語学概論2 College English Grammar A College English Grammar B
		澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)		澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
兼任	准教授	天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ	兼任	天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
		黒岩 康博 <令和6年4月> 博士(文学)		
兼任	准教授	基礎からわかる近代史	兼任	
		箱田 徹 <令和6年4月> 博士(学術)		
兼任	准教授	キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2	兼任	
		小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)		小野 朗子 <令和6年4月> 博士(理学)
兼任	准教授	ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2	兼任	ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
		川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)		川上 晃司 <令和6年4月> 修士(体育学)
兼任	准教授	健康スポーツ科学2 ニュースポーツ	兼任	健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
		梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)		梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士(学術)
兼任	准教授	健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習	兼任	健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割 国際スポーツ協力論 国際スポーツ交流実習
		穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)		穴井 隆将 <令和6年4月> 修士(教育学)
兼任	准教授	健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割	兼任	健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ
兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学)	兼任	講師	Wood Jeremy George <令和6年4月> 博士(文化交渉学)
		Business Communication			Business Communication
兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米園)	兼任	講師	深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米園)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 <令和6年4月> 博士(教育学)			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習(中・高) 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士(法学)
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 基礎からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也 <令和6年4月> 修士(体育学)※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)	兼任	助教	金子 竜大 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	龍木 勉 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国) ※ 多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
					龍元 伸枝 <令和6年4月> 修士(経営学) ※ 天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 孝弘 <令和6年4月> 修士(学術) 天理大学特別講義3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	白石 晃 <令和6年4月> 修士(教育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 <令和6年4月> 博士(医学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 真理 <令和6年4月> 博士(医学)
					保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	高地 朋成 <令和6年4月> 文学博士(大韓民国)
					多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)
			兼任	准教授	山本 佳世子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
					キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	松山 尚蓮 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1
			兼任	助教	西田 昂平 <令和6年4月> 修士(体育学)
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	蔡 瑞菁 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	蔡 瑞菁 <令和6年4月> 博士(文学)
		多文化理解と言語(中国語)			多文化理解と言語(中国語)
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア)	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga <令和6年4月> 博士(文化学)(ロシア)
		多文化理解と言語(ロシア語)			多文化理解と言語(ロシア語)
兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学)	兼任	講師	森田 実 <令和6年4月> 学士(法学)
		観光地理学 観光業界論 ホスピタリティ-観光研究1 ホスピタリティ-観光研究2 国内旅行業務 海外旅行業務			天理大学特別講義6 天理大学特別講義6 観光地理学 観光業界論 ホスピタリティ-観光研究1 ホスピタリティ-観光研究2 国内旅行業務 海外旅行業務
兼任	講師	池辺 明子 <令和6年4月> 博士(言語学)	兼任	講師	池辺 明子 <令和6年4月> 博士(言語学)
		基礎日本語A(講義) 基礎日本語B(講義) 基礎日本語A(文法A) 基礎日本語B(文法B)			基礎日本語A(講義) 基礎日本語B(講義)
兼任	講師	今西 真理子 <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	今西 真理子 <令和6年4月> 文学修士
		基礎日本語A(会話) 基礎日本語A(文法A) 基礎日本語A(文法B) 基礎日本語A(総合) 基礎日本語B(総合)			入門日本語A(会話) 入門日本語B(会話) 基礎日本語A(会話) 基礎日本語A(総合) 基礎日本語B(会話) 基礎日本語B(総合)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	金 珠 <令和6年4月> 博士(日本語・日本文化)	金 珠 <令和6年4月> 博士(日本語・日本文化)
		基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(講読) 基礎日本語B(文法A) 基礎日本語B(文法B) 基礎日本語B(表記)	基礎日本語A(文法A) 基礎日本語A(文法B) 基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(文法A) 基礎日本語B(文法B) 基礎日本語B(表記)
兼任	講師	久下 景子 <令和6年4月> 博士(文学)	久下 景子 <令和6年4月> 博士(文学)
		入門日本語A(講読) 入門日本語A(文法A) 入門日本語A(文法B) 入門日本語A(作文) 入門日本語B(講読) 入門日本語B(作文)	入門日本語A(講読) 入門日本語A(作文) 入門日本語B(講読) 入門日本語B(作文)
兼任	講師	住原 則也 <令和6年4月> Ph.D(米國)	住原 則也 <令和6年4月> Ph.D(米國)
		ナラロジー研究入門 世界のなかの日本 ナラロジー概論 経営人文学特論 日本環境文化特論 基礎日本語A(作文) ビジネス日本語1 ビジネス日本語2 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習1	ナラロジー研究入門 ナラロジー概論 日本環境文化特論 ビジネス日本語1 ビジネス日本語2 日本研究演習1 日本研究演習2 日本研究演習3 日本研究演習4 日本文化体験実習1
兼任	講師	仁上 真理子 <令和6年4月> 修士(日本語教育学)	
		入門日本語A(会話) 入門日本語B(会話) 基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(会話)	
兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)	福井 孝三 <令和6年4月> 修士(言語教育情報学)
		基礎日本語A(会話) 基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(講読) 基礎日本語B(文法A) 基礎日本語B(文法B) 基礎日本語B(表記)	入門日本語A(文法A) 入門日本語A(文法B) 基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(文法A) 基礎日本語B(文法B) 基礎日本語B(表記) 基礎日本語B(総合)
兼任	講師	森 敦子 <令和6年4月> 修士(教育学)	森 敦子 <令和6年4月> 修士(教育学)
		入門日本語A(表記) 入門日本語A(総合) 入門日本語B(表記) 入門日本語B(総合) 基礎日本語B(会話) 基礎日本語B(作文)	入門日本語A(表記) 入門日本語A(総合) 入門日本語B(表記) 入門日本語B(総合) 基礎日本語A(会話) 基礎日本語B(会話)
兼任	講師	森久 国雄 <令和6年4月> 修士(文学)※	
		基礎日本語A(総合) 基礎日本語B(総合)	
兼任	講師	湯通堂 誠 <令和6年4月> 修士(言語文化学)	湯通堂 誠 <令和6年4月> 修士(言語文化学)
		基礎日本語A(講読) 基礎日本語A(作文) 基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(講読) 基礎日本語B(作文) 基礎日本語B(表記)	基礎日本語A(講読) 基礎日本語A(作文) 基礎日本語A(表記) 基礎日本語B(講読) 基礎日本語B(作文) 基礎日本語B(表記)
兼任	講師	鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国)	鈴木 陽二 <令和6年4月> 文学修士(韓国)
		韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2	韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2
兼任	講師	吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士	吉川 万寿彦 <令和6年4月> 文学修士
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	多文化理解と言語(韓国・朝鮮語) ※
兼任	講師	乾 拓也 <令和7年4月> 修士(文学)	乾 拓也 <令和7年4月> 修士(文学)
		社会言語学1 社会言語学2	社会言語学1 社会言語学2

専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米國)
		TOEFL Academic English
兼任	講師	Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Culture and Society
兼任	講師	山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学)※
		多文化理解と言語(ドイツ語)
兼任	講師	初谷 譲次 <令和9年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	講師	家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)
		教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2
兼任	講師	小林 和代 <令和6年4月> 文学修士
		中国語1 中国語2
兼任	講師	井上 成人 <令和6年4月> 文学士
		天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 <令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 <令和7年4月> 教育学士
		天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之 <令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎 <令和6年4月> 修士(文学)※
		天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 <令和6年4月> 学士(宗教学)
		天理教概説1 天理教概説2

専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日沖 直子 <令和6年4月> 博士(宗教美術)(米國)
		TOEFL Academic English
兼任	講師	Randy Timothy Muth <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		Japanese Culture and Society
兼任	講師	山下 大輔 <令和6年4月> 修士(文学)※
		多文化理解と言語(ドイツ語)
兼任	講師	初谷 譲次 <令和9年4月> 修士(国際学)
		グローバル文化論 アメリカ地域文化論 アメリカの歴史と社会 観光デザイン論
兼任	講師	家村 雅子 <令和6年4月> 修士(言語文化学)
		教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2
兼任	講師	小林 和代 <令和6年4月> 文学修士
		中国語1 中国語2
兼任	講師	井上 成人 <令和6年4月> 文学士
		天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 <令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 <令和7年4月> 教育学士
		天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之 <令和7年4月> 文学士
		天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人 <令和6年4月> 博士(文学)
		天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎 <令和6年4月> 修士(文学)※
		天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 <令和6年4月> 学士(宗教学)
		天理教概説1 天理教概説2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	安井 幹直 <令和6年4月> M.A(文学修士)(米國)	兼任	講師	安井 幹直 <令和6年4月> M.A(文学修士)(米國)
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵 <令和9年4月> 修士(文学)	兼任	講師	荒田 恵 <令和9年4月> 修士(文学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 <令和9年4月> 文学士	兼任	講師	乾 誠二 <令和9年4月> 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 <令和9年4月> 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 <令和9年4月> 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 <令和9年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	中尾 徳仁 <令和9年4月> 学士(教育学)
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 <令和6年4月> 法務博士	兼任	講師	今治 周平 <令和6年4月> 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 <令和6年4月> 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 <令和6年4月> 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 <令和6年4月> 修士(商学)※	兼任	講師	加藤 康 <令和6年4月> 修士(商学)※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 <令和6年4月> 博士(理学)			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	坂手 誠治 <令和6年4月> 博士(学術)
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※	兼任	講師	鈴木 史子 <令和6年4月> 修士(臨床心理学)※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※	兼任	講師	竹村 和也 <令和6年4月> 修士(法学)※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	東井 申雄 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	長沢 一恵 <令和6年4月> 修士(文学)※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)	兼任	講師	中村 珍晴 <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)	兼任	講師	西 直美 <令和6年4月> 博士(グローバル社会研究)
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	福島 沢美 <令和6年4月> 学士(教育学)
		日本語A 日本語B			日本語A 日本語B
兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藤井 稔 <令和6年4月> 博士(文学)
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士(教育学)
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士(文学)
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 <令和6年4月> 博士(農学)			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士(経済学)
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士(文学)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2

専任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		担当授業科目名			担当授業科目名
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士(芸術)
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士
		教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)			教育方法学(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)
兼任	講師	富田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)	兼任	講師	富田 稔 <令和6年4月> 修士(都市政策)
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習(中・高) 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士(教育学)
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 <令和6年4月> 文学士
		矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)			矯正概論 矯正保護教育(施設参観を含む)
兼任	講師	高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 <令和7年4月> 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 <令和6年4月> 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)	兼任	講師	北條 正崇 <令和7年4月> 学士(法学)
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 <令和7年4月> 体育学士	兼任	講師	山本 道次 <令和7年4月> 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 <令和7年4月> 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 <令和6年4月> 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 <令和6年4月> 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニュースポーツ

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力量科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力量科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	3
5	
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	1	0	0	5	0	6	0	2	0	8	0
(5)	(0)	(1)	(0)	(6)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	1	1	0	7	0	5	1	1	0	7	0
[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{5} = \boxed{140} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。(国際学部日本学科)	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>学校法人天理大学就業規則において大学教員の定年は60歳となっているが、同規則及び天理大学教員再雇用規程に則り、本人の希望により60歳を超えても65歳まで引き続き雇用される【資料①】。同規則及び同規程の適用を受けた教員は、定年前と同様に当該教授会の構成員となる。また、学部長、学科主任、各種委員会の委員を務めるなど定年前の教員と何ら変わらない。</p> <p>さらに同規程では、65歳を超えて教学上特に必要と認める教員を特別嘱託教授として、年度末の年齢満68歳を限度として雇用すると定めている。</p> <p>国際学部日本学科では、専任教員の高齢化の改善及び令和6年度末に退職となる教員を補充するため、令和6年度より教員2名を教授と講師として新たに採用した。専任教員の高齢化は今後の教員組織においてふさわしい状況とは言い難いが、引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、教育研究の継続性と年齢構成を考慮して、後任人事を補充していく。</p>	履行済
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した人文学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人文学部宗教学科の入学者数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。</p>	履行済
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。</p> <p>外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。</p> <p>ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学者数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。</p>	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 日本文学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料②】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部日本学科は、既設の国際学部地域文化学科日本研究コースを改編し、令和6年に開設した。教育研究上の目的として、「入学時の語学力に応じた日本語のクラスを通じて身につけた確かな日本語運用能力を基礎として、世界のなかの日本について社会・文化を幅広く学ぶ。また、「日本という国のはじまり」である奈良の地域的特性について深く学び、グローバルな視点から日本や奈良の地理と歴史の理解を深める。既存の知識を単に修得するだけでなく、経営的な視点も加え、社会や地域が伝統文化や新しい文化をどのように導入し、活用していくことができるのかという、今日求められる実学的知識を修得し、国際社会で活躍できる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。

授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更がある。また、ウクライナの国内情勢により、同国より受け入れていた留学生が同学科に編入学生として入学したため、令和7年度と令和8年度より開講する予定となっていた2年生、3年生配当科目の一部を前倒して令和6年度より開講することになった。上記以外は、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

次回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。